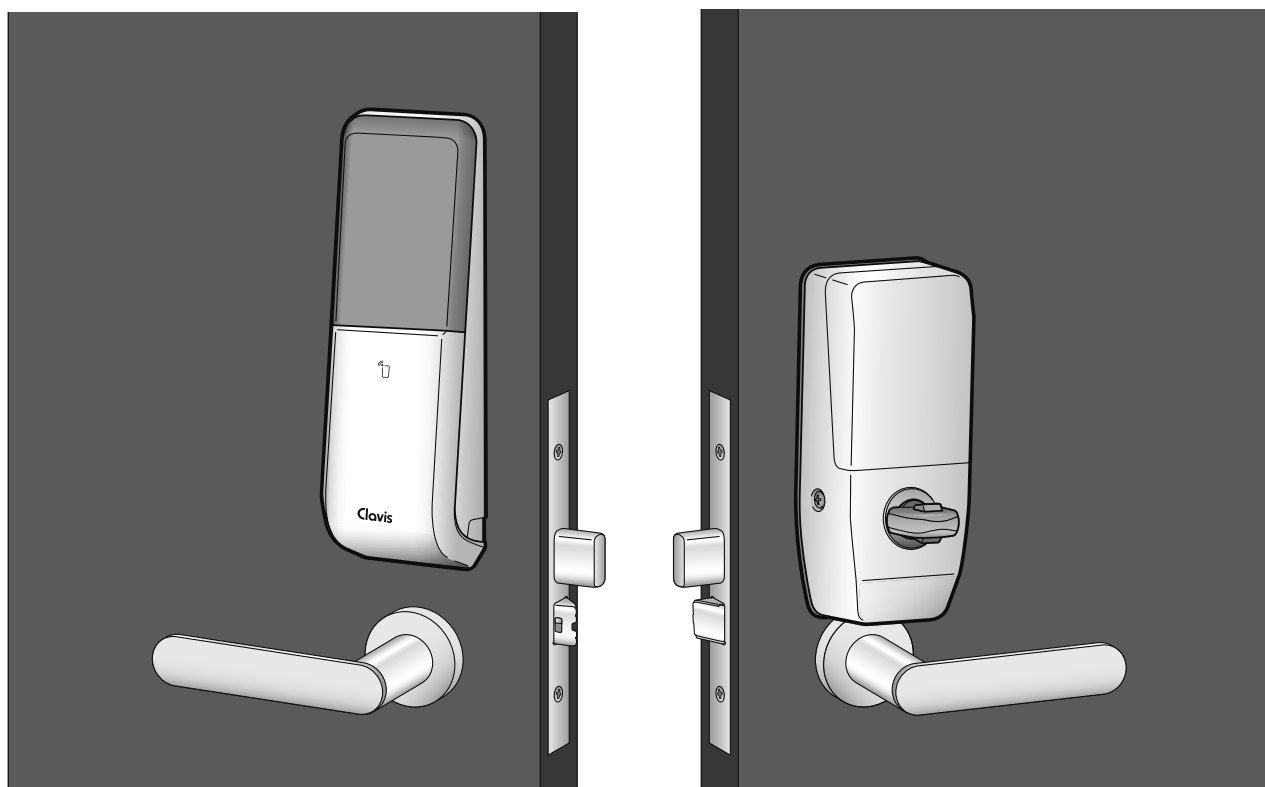


Clavis

資料番号 : 014-20-08-01

電池式テンキーカードロック

取扱説明書 Tebra X



保存版

- このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- 製品を末永く安全にお使いいただくために、「お使いになる前に」を必ずお読みください。
- 取扱説明書はいつでもお読みになれるように、大切に保管してください。

目次

お使いになる前に

各部の名称	1
非接触キーについて	2
タッチパネルについて	3
安全上のご注意	3
錠前の一般的な取り扱い	7
盗難・悪用防止のために	8
お手入れについて	9
設定をする前に	10
左右勝手の設定	12

所有者がTebraxを使う

所有者が使用するカードと暗証番号について	17
マスターカードを登録／抹消する	18
マスター用暗証番号を登録／抹消する	20
空室カードを登録／抹消する	22
空室用暗証番号を登録／抹消する	24
ユーザーカードを登録／抹消する	26
ユーザー用暗証番号を登録／抹消する	28
各暗証番号／カードの登録状況と使用について	30
システム設定をする	30
エラー表示について	45

管理業者がTebraxを使う

管理業者が使用するカードと暗証番号について	47
空室カードを登録／抹消する	48
空室用暗証番号を登録／抹消する	50
空室カード／空室用暗証番号の登録状況と使用について	52
空室カードを使う	53
空室用暗証番号を使う	53

入居者が使用するカードと暗証番号について	55
ユーザーカードを登録／抹消する.....	56
ユーザー用暗証番号を登録／抹消する	58
ユーザーカードを使う	60
ユーザー用暗証番号を使う	60
簡易認証キーを使う	60
引っ越しをするとき.....	60
所有者が設定を変更すると使える機能.....	61

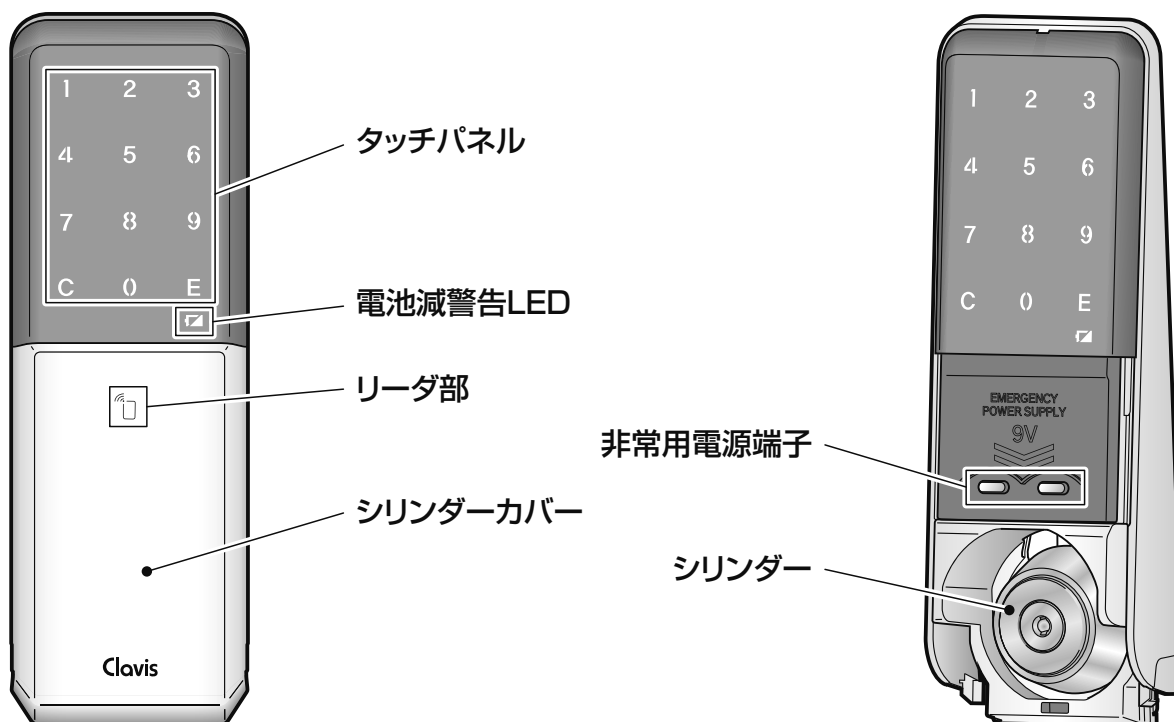
非接触キー（カードなど）による室外側からの施錠／解錠	62
暗証番号による室外側からの施錠／解錠	63
室外側からの施錠／解錠（ダブル認証モード）.....	64
室内側からの施錠／解錠	65

タッチパネルに触れても TebraX が反応しない	66
サムターンが動かない.....	67
電池減警告 LED が点灯した.....	68
Tebra 認証キーを紛失した場合	69
故障かな？と思ったら	70

仕様.....	73
図面.....	74
保証書	75
クラブス事業部連絡先.....	裏表紙

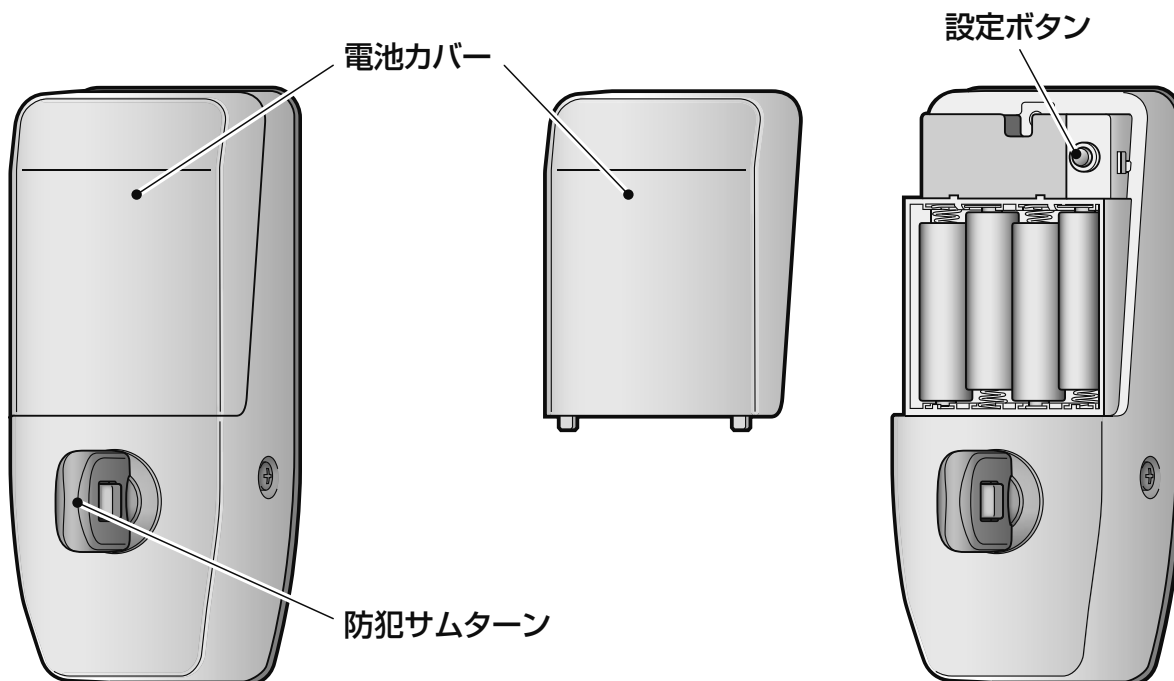
各部の名称

ドアまわり部品（室外側）



お使いになる前に

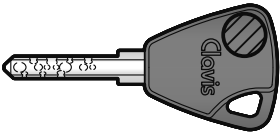


ドアまわり部品（室内側）



非接触キーについて

非接触キーは IC チップを内蔵しており、リーダ部にかざすことで IC チップの情報を認証し、施錠／解錠を行います。

通常認証モード、簡易認証モードのいずれかを設定してご使用ください。

通常認証 モード (初期設定)	Tebra 認証キー		機能
	TL キー Tone L キー		<ul style="list-style-type: none"> ● Tebra 認証キーを Tebra X に登録したあと、タッチパネルに触れてリーダ部にかざすことで認証して施錠／解錠します。 ● Tebra 認証キーは、簡易認証キーに比べ高度な通信技術で登録されています。
	TL タグ Tone L タグ		
TL カード			


 : 認証センサー範囲

簡易認証 モード	簡易認証キー		機能
	FeliCa カード		<ul style="list-style-type: none"> ● 任意の交通系 IC カード等 (FeliCa、Mifare) を Tebra X に登録したあとタッチパネルに触れて、リーダ部にかざすことで認証して施錠／解錠します。 ● 簡易認証キーを使うときは、所有者が簡易認証モードに変更してください。 (通常認証と簡易認証モードを変更する 32 ページ)
Mifare カード			

※ : 「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

※ : 「Mifare®」は、NXP セミコンダクターズの登録商標です。

※ : 交通系 IC カードを使用される場合は、定期更新後に使用できなくなる可能性があります。

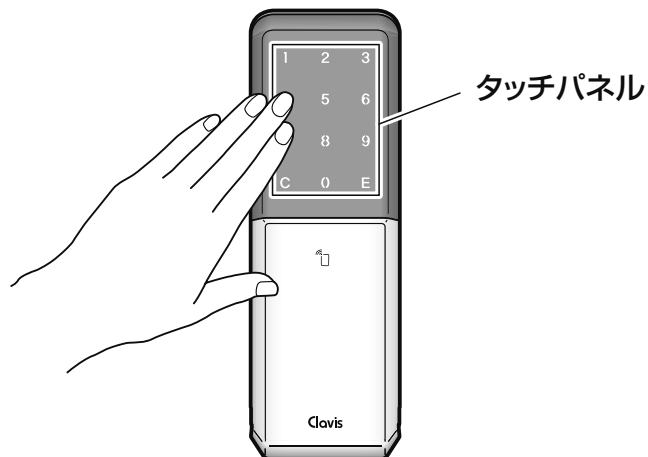
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● Tebra X の認証キーとしてスマートフォンおよび携帯電話は登録しないでください。 登録ができた場合でもご利用中に使用できなくなる可能性があります。 ● 通信距離 Tebra 認証キーの通信距離は約 1 cm です。非接触キーはリーダ部付近にかざしてください。当社発行の Tebra 認証キーのみの保証となります。カードの種類によっては通信距離を確保できない場合や、登録できないおそれがあります。
---	--

タッチパネルについて

タッチパネルに触れると文字が点灯します。

次の操作で使します。

- 登録した暗証番号を入力すると Tebra X が認証して施錠／解錠します。
- 登録した認証キーをかざすと Tebra X が認証して施錠／解錠します。
- 各機能を設定するときに使します。






お使いになる前に

安全上のご注意

ここでは次の説明をしています。ご使用前に必ずお読みください。

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたいこと
- 電池式テンキーカードロック特有の留意事項

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負ったり財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全上のご注意（続き）

⚠ 危険

植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、リーダ部（**1ページ**）から植込み型医療機器の装着部位を22cm以上離して使用してください。

また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。

⚠ 警告

● 精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。

感電や故障の原因となります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。

● 散水による水洗いは避けてください。また、雨露の直接かからない場所でお使いください。

感電や故障の原因となります。

● リーダ部は防水性能（IPX4 相当*）を有していますが、バケツやホースなどで水をかけないでください。

● 電池の（+）と（-）を逆にして使用しないでください。

● アルカリ電池とリチウム電池を混在して使用しないでください。

● 0℃以下の環境でご使用の際はリチウム電池をご利用ください。

● 古い電池と新しい電池を混在して使用しないでください。

充電やショートなどで異常反応を起こすなど、電池が液漏れ、発熱、破裂、発火するおそれがあります。

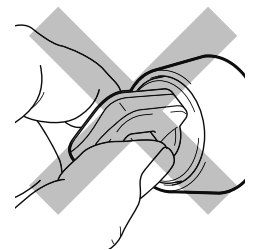
* JIS C0929 (IEC 60529)『電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)』における保護等級を示します。

IPX4 とは防ひまつ形を意味します。

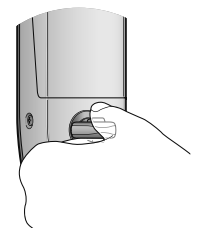
⚠ 注意

● 作動中（サムターンの回転中）およびブザーが鳴っている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。

作動完了前（ブザーが鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。



● サムターンが回しにくくなった場合は、上下ボタンを指でしっかりとつまんだ状態で回してください。回した後は、再度サムターンをタッチパネルやカードキーで動作させると元に戻ります。



● 高温を避けて保管してください。

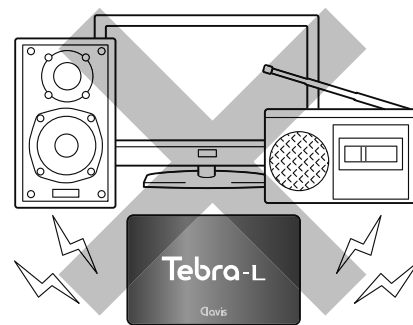
Tebra 認証キーの変形、破損、読み取り不良の原因となります。車の中に長時間放置したり、車のダッシュボードなど、直射日光下で高温になるような場所に Tebra 認証キーを置かないでください。

⚠ 注意

- Tebra 認証キーを電化製品の近くに放置したり、磁石（磁性のある物を含む）に近づけないようにしてください。読み取り不良の原因となります。

例：影響のある主な電化製品〈常時 1m 以上離すのが望ましいもの〉

テレビ、パソコン、電磁調理器、電気スタンド、充電中のコードレス電話器および携帯電話、医療用電気機器など



- 電池切れ時は使用できません。電池が切れたときは、下記の操作でロックを施錠／解錠してください。
 - 電源供給ソケットに 9V 角型電池を接触させカード操作、またはタッチパネル操作します。（66 ページ）
 - シリンダーにキーを挿入します。（67 ページ）
- 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 電池は指定の電池をご使用ください。また、電池切れ警告が現れなくても 1 年ごとに新しい電池と交換してください。（68 ページ）
 - 電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
 - 電池の消耗時には、作動範囲が狭くなる場合があります。

IC カード (TL カード / FeliCa / Mifare カード※) 取り扱い上の注意事項

⚠ 注意

- IC カードを傷付けたり、折り曲げたりしないでください。
変形・反り・割れなどが生じたカードは、読み取りができません。
- IC カードを水に濡らさないでください。
IC カードが故障するおそれがあります。
- IC カードを直射日光の強い場所や炎天下の車内等、高温の場所に放置しないでください。
IC カードが変形するおそれがあります。
- IC カードをズボンのポケットに入れて持ち歩く場合、曲げ応力が加わるような携帯方法、使用はお避けください。
IC カードが破損したり、機能を損なうおそれがあります。
- IC カードは、金属物（コイン等）や他の非接触 IC カード等と一緒に携帯していると反応しない場合があります。
- IC カードを衣類のポケットに硬貨等の金属類と一緒に入れたりしないでください。
IC カードに傷がつくおそれがあります。
- IC カードを紛失した場合、直ちに IC カードの登録を抹消してください。
抹消せずにそのまま利用すると、不正に利用されるおそれがあります。

安全上のご注意（続き）



- IC カードに金属成分を含むシール等を貼付しないでください。
リーダの読み取り性能が低下し、使用できない場合があります。
- 複数枚のカードを重ねて使用しないでください。
リーダで読み取りできない場合があります。
 - ※ 「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
 - ※ 「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
 - ※ Mifare® は NXP セミコンダクターズの登録商標です。

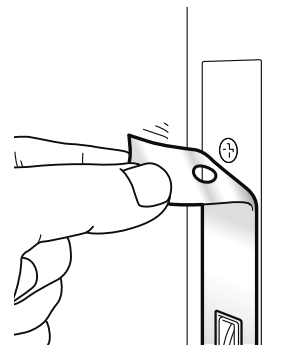
その他

本書に掲載の内容および仕様などは、予告なく変更されることがあります。
本書の内容の一部または全部を無断で転載することとはご遠慮ください。

錠前の一般的な取り扱い

⚠ 注意

- キーによる操作を長期間行わない場合、ホコリ等の影響でシリンダーの作動が悪くなる場合があります。1か月に2～3回程度、キーによる操作を行ってください。
万が一作動が悪くなっている場合は（9ページ）に掲載されております「お手入れについて」をご参照ください。
- 鍵穴に異物（針金やマッチ棒など）を入れないでください。
異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 錠のフロントプレートやストライク表面に保護シールが付いている場合は、必ずはがしてください。
そのまま放置すると、保護シールについている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。
- コピーしたキーは使用しないでください。
キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響を及ぼすおそれがあります。本書末尾の保証書に記載しているサービス代行店までお問い合わせください。
- 施錠したときはハンドルを操作して確実に鍵がかかったことを確認してください。
- 経年劣化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。
ドア全体の修理が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社、施工業者または建具メーカーに連絡してください。
- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。
開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、Tebra 認証キー・簡易認証キーによる電池錠での施錠／解錠ができなくなることがあります。



盗難・悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難を防ぐため、施錠の確認は必ず行ってください。
- Tebra 認証キーには、使用場所が分かる表示は付けないでください。紛失したときに悪用されるおそれがあります。
- 普段お使いにならない Tebra 認証キーは、使用時以外、大切に保管してください。
- TL タグ／Tone L タグ／TL カードをご使用の方は、機器の故障、電池切れなどに備え、必ずキーを持参してください。

お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておくと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

- 清掃は少なくとも月に1～2回程度、実施してください。
- 特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

日常のお手入れは、やわらかい乾いた布で拭いてください。機器本体の汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布を固く絞ってから拭いてください。酸性洗剤、塩素系洗剤、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

お手入れ方法

製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するため、次の方法で実施してください。

1 柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。

強くこすらないでください。

2 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液を柔らかい布またはスポンジにしみ込ませてからよく絞って拭き取ってください。

- 洗剤の成分が残らないよう、十分に拭き取ってください。
- 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
- サンドペーパー、堅いブラシ、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。



3 キーの抜き差しや回転操作が悪くなったときは、柔らかい芯の鉛筆（B～4B）の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤（粉末タイプ、シリコーンを含まないタイプ）を使用してください。

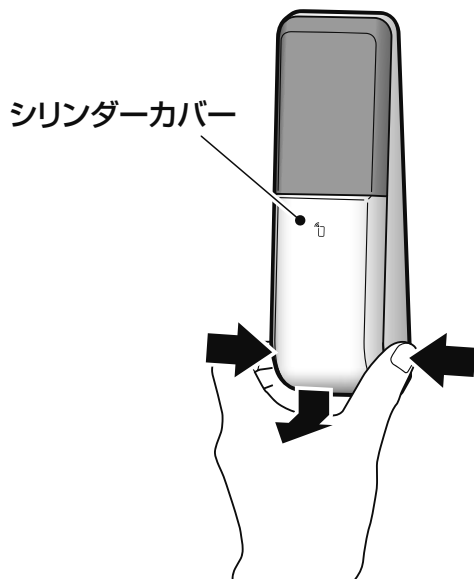
- 鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞった後、キーで抜き差しを数回行ってください。
- 鍵穴には絶対に油を差さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着し、かえって動きを悪くします。
- シリコーンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。

設定をする前に

シリンダーカバーの取り外しかた／取り付けかた

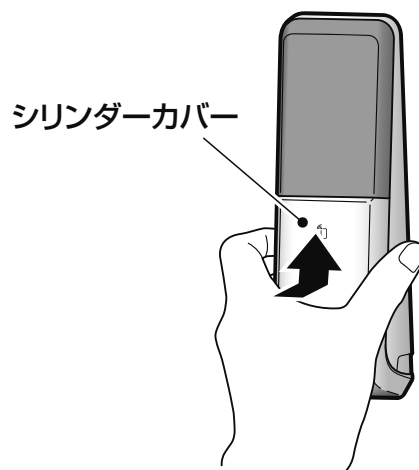
シリンダーカバーの取り外しかた

シリンダーカバーの両側のへこみ部分をし
っかり握り、下にスライドさせ、手前に引
張って取り外します。



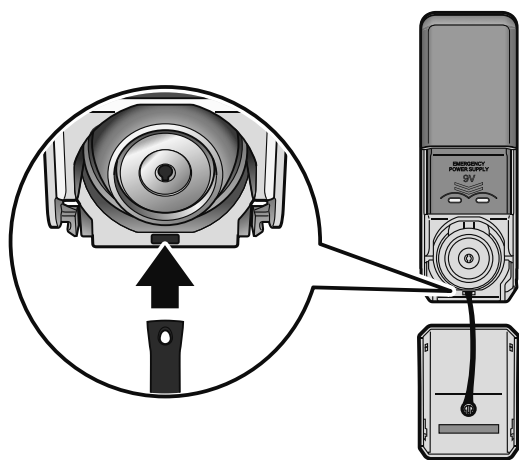
シリンダーカバーの取り付けかた

シリンダーカバーの両側を持ち、正面から
押し込み、上にスライドさせて「カチッ
」と鳴るまで、しっかりとめ込みます。



シリンダーカバー脱落防止ストラップについて

シリンダーカバーには脱落防止用のスト
ラップがついています。
ストラップが外れたときは、ストラップを
元の位置に挿し込みます。



設定をする前に（続き）

電池カバーの取り外しかた／取り付けかた

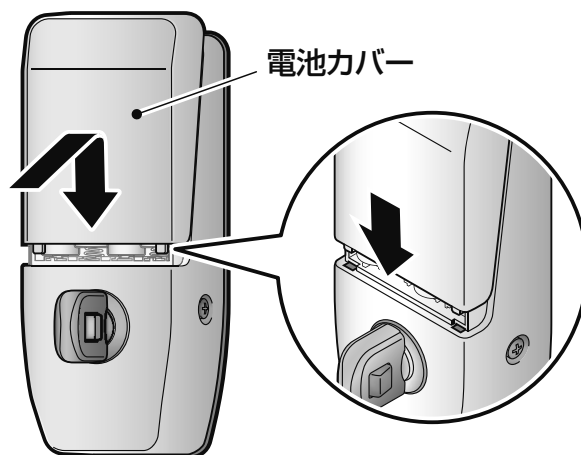
電池カバーの取り外しかた

電池カバーを上方にずらしてから、手前に引いて取り外します。



電池カバーの取り付けかた

電池カバーをガイドの位置に合わせ、下方にずらして取り付けます。「カチッ」と鳴るまで、しっかりとめ込みます。



お使いになる前に

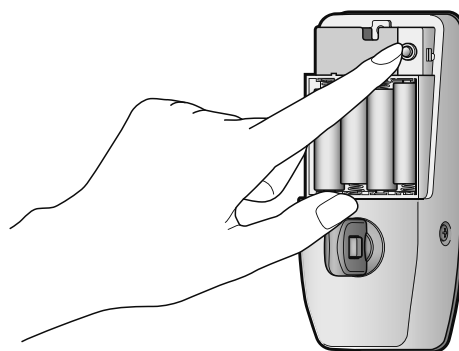
左右勝手の設定

設定ボタンについて

室内側電池カバー内の設定ボタンを約 1 秒押すと、システム設定やカード／暗証番号の登録／抹消モードに切り替えることができます。

※ 操作は解錠状態で行ってください。施錠した状態では操作できません。

※ 電池カバーの取り外しかたについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。



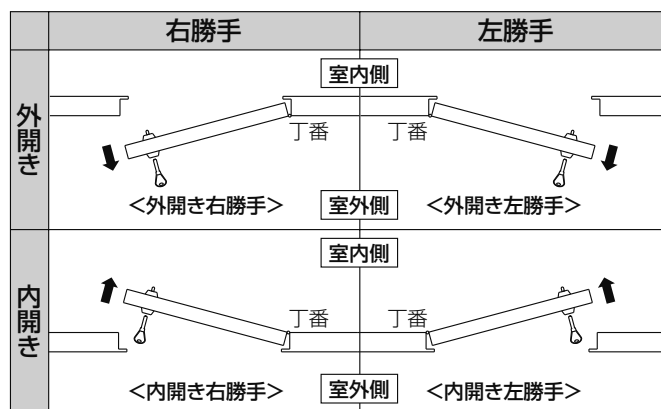
施工時に勝手 (R / L) を切り替える

扉の勝手 (左吊元か右吊元または、外開きか内開き) に応じて錠の勝手を切り替える必要があります。

錠前の左右勝手〈開き扉の場合〉

当社では、錠前の左右勝手を次のように定めております。

- ・ シリンダー (室外) 側から見て丁番が右側に見える…右勝手
- ・ シリンダー (室外) 側から見て丁番が左側に見える…左勝手



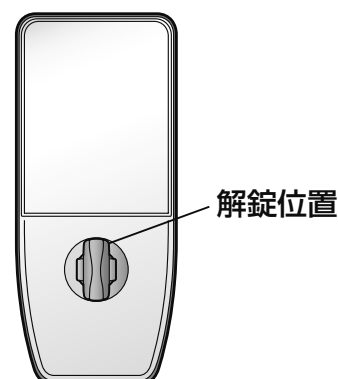
左右勝手の設定を行う前の確認

機器取付時に行う左右勝手の変更と、取付後に行うシステム的な設定の 2 種類があります。左右勝手を変更する場合は、必ず両方の設定を行ってください。設定の際に、マスターカード／マスター用暗証番号のいずれかを準備してください。(初期設定は右勝手)

左右勝手の設定（続き）

取付時に行う左右勝手の変更方法

サムターンが縦の位置（解錠位置）になっていることを確認してから、設定します。



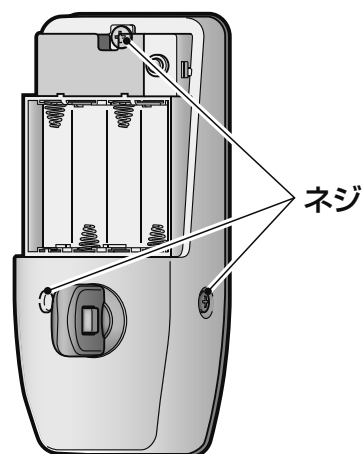
本体(室内側)

1 電池カバーを取り外し、本体の電池を取り外します。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11ページ）を参照してください。

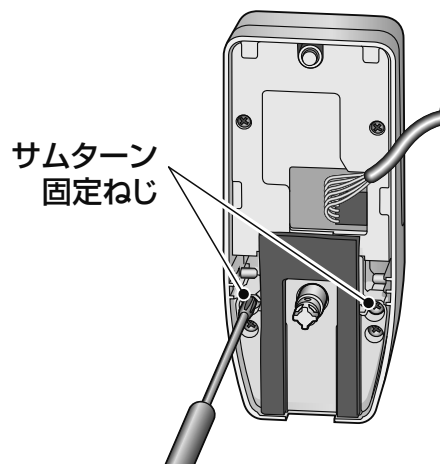
2 本体（室内側）のねじを取り外します。

本体の（室内側）を取り外します。
プラスドライバー#2をご使用ください。




3 サムターン固定ねじを緩める、または取り外します。


サムターンを引き出せるようになります。

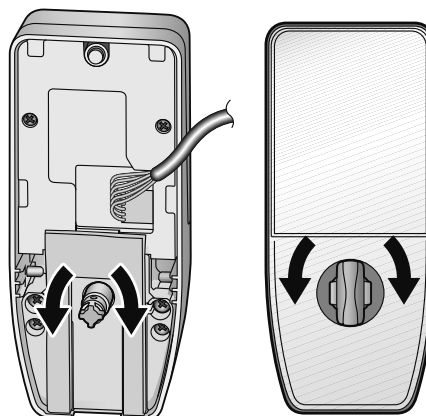
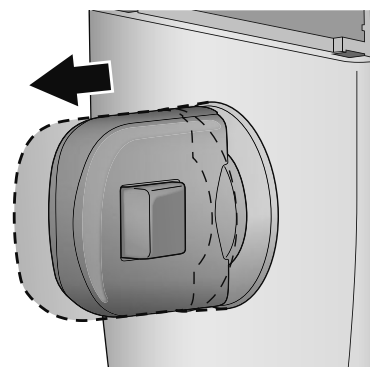


左右勝手の設定（続き）

4 サムターンを引き出します。

サムターンを引き出すと、とサムターンが別々に、左右どちらにも回転させることができるようになります。



※ 引き出さなければを回転させたときに、サムターンも同様に回転してしまい左右勝手の変更ができません。





サムターンを引き出したあと、それぞれが自由に動きます

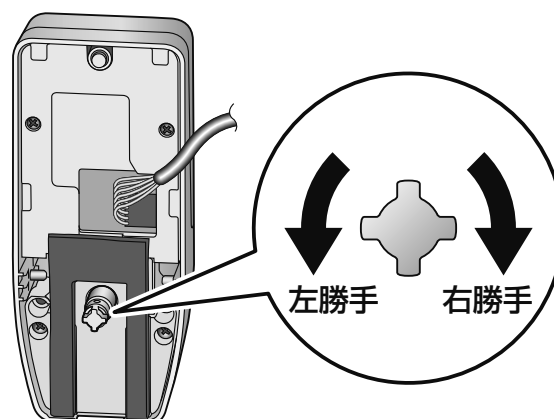
5 次の操作で左右勝手を切り替えます。

● 右勝手にする場合

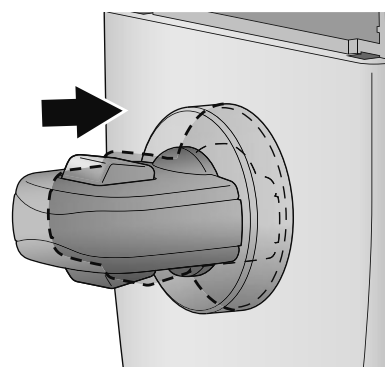
サムターンが施錠位置でを右に回しきる。

● 左勝手にする場合

サムターンが施錠位置でを左に回しきる。



6 サムターンを押し込みます。



7 サムターン固定ねじを締め付けます。

左右勝手の設定（続き）

取付後に行う体系的な設定方法

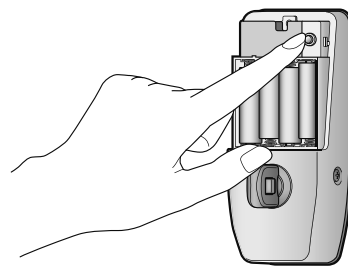
機器取付に左右勝手の変更を行ってから設定します。

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

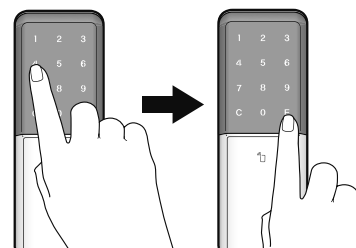
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、左右勝手の切り替えをします。

※ 手の位置は入力方法のイメージです。
入力方法については、次表で確認してください。



設定項目	入力方法	登録中 番号表示
右勝手 (初期設定)	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「1」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「1」 → 「E」 を押す	「1」 点滅
左勝手	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「1」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「2」 → 「E」 を押す	「2」 点滅

左右勝手の設定（続き）

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。



4 設定終了

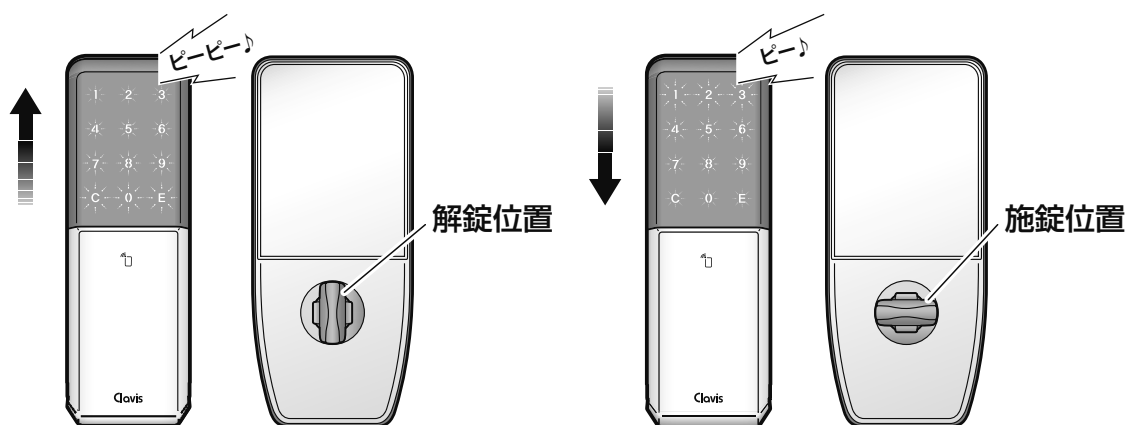
終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（[11 ページ](#)）を参照してください。

左右勝手の設定後の確認

マスターカードまたは、マスター用暗証番号で施錠／解錠したときにサムターンの状態が解錠位置または施錠位置になっていることを確認します。



タッチパネルが矢印の方向へ点滅し、ブザーでお知らせします。

所有者が使用するカードと暗証番号について

所有者は TL カードと暗証番号を登録しておくことで、利用者の用途に応じた鍵を作ることができます。

まずはマスター用暗証番号を登録することを推奨します。

マスター用暗証番号(11桁)



- ・1種類の登録ができます。
- ・所有者用

空室用暗証番号(4~10桁)

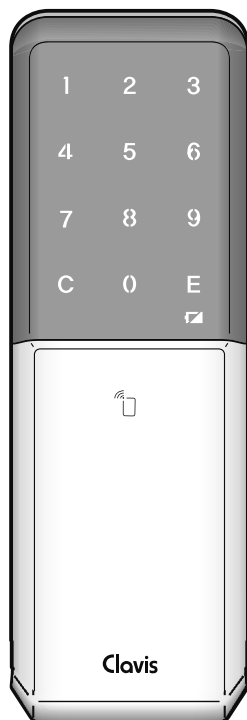


- ・5種類の登録ができます。
- ・管理業者用

ユーザー用暗証番号(4~10桁)



- ・5種類の登録ができます。
- ・入居者用



マスターカード*



- ・10枚まで登録できます。
- ・所有者用

空室カード*



- ・20枚まで登録できます。
- ・管理業者用

ユーザーカード*



- ・20枚まで登録できます。
- ・入居者用

※TL カード以外にも TL キー/ TL タグ/ Tone L タグが Tebra 認証キーとして登録できます。
(Tebra 認証キー [2ページ](#))

※Tebra 認証キー (TL キー/ Tone L キー/ TL タグ/ Tone L タグ/ TL カード) は、高度な通信技術で登録されています。



注意

● マスター用暗証番号を登録することを推奨します。

マスター用暗証番号を登録せずに、マスターカードを紛失すると変更や抹消などができなくなります。

認証媒体：登録可能 ID 数	機能	使用者
マスターカード：10 枚 マスター用暗証番号：1 種類 (11 桁)	施錠／解錠および、本体のすべての設定／変更	所有者
空室カード：20 枚 空室用暗証番号：5 種類	施錠／解錠および、一部の設定／変更 ・ユーザーカード／暗証番号の登録が 0 の場合のみ使用可能です。 ・ユーザーカード／暗証番号が登録された時点で無効化されます。 ・ユーザー登録情報が削除されると再度空室カード／空室用暗証番号が使用不可能となります。	管理業者
ユーザーカード：20 枚 ユーザー用暗証番号：5 種類	施錠／解錠および、一部本体の設定／変更	入居者

※：TL キー/ Tone キー/ TL タグ/ Tone タグ/ TL カードの合計登録可能 ID 数はマスターカード/空室カード/ユーザーカードの登録可能 ID 数と同様です。

マスターカードを登録／抹消する

設定条件

- 登録済みのマスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 新規登録の際にマスター用暗証番号が登録されている場合はマスター用暗証番号の入力が必要です。
- 解錠状態でマスターカードの登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能なマスターカードは 10 枚です。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

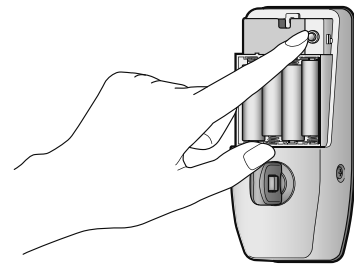
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

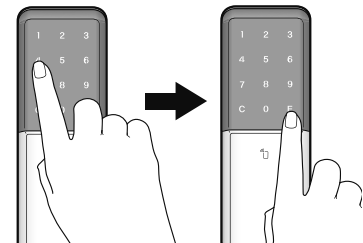
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、マスターカードを登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。


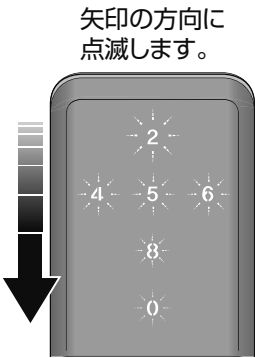
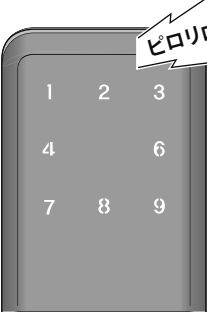
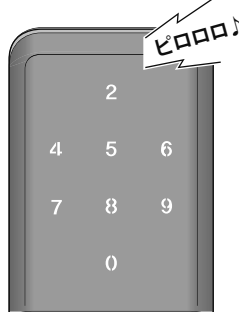
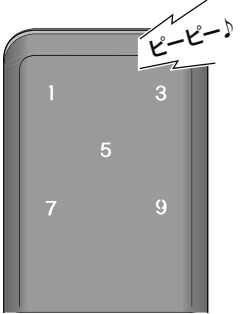


設定項目	入力方法
新規登録	<ol style="list-style-type: none">① 「6」 → 「E」 を押す② マスター用暗証番号が登録されている場合は入力して「E」を押す③ 「1」 → 「E」 を押す④ いずれかの管理番号「1」～「10」を選ぶ → 「E」を押す⑤ 登録するマスターカードをかざす
追加登録	<ol style="list-style-type: none">① 「6」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」を押す③ 「1」 → 「E」 を押す④ 管理番号「1」～「10」 → 「E」を押す ※ :既に登録されている管理番号は選択できません。⑤ 登録するマスターカードをかざす

マスターカードを登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
個別抹消	① 「6」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ④ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「10」 → 「E」 を押す ⑤ 「C」 を押す
登録数確認	① 「6」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ④ タッチパネルに登録枚数「00」～「10」が表示される → 「E」 を押す ⑤ 登録済みマスターカードをかざす ⑥ かざしたマスターカードの管理番号「01」～「10」が表示される
マスター カードの 全抹消	① 「6」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「0」 → 「E」 を押す ④ 「999」 → 「C」 を押す

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	カードをかざす	登録完了	抹消完了	設定失敗
	矢印の方向に 点滅します。 			

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」
 (11 ページ) を参照してください。

マスター用暗証番号を登録／抹消する

- 所有者がお使いになるときは、まず管理用のマスターカード／マスター用暗証番号の登録を推奨します。
- 登録したマスター用暗証番号は、巻頭の記入欄にメモしていただき忘れないように保管してください。

設定条件

- 登録済みのマスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 新規登録の際にマスターカードが登録されている場合はマスターカードが必要です。
- 解錠状態でマスター用暗証番号の登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能なマスター用暗証番号は 1 種類です。
- 暗証番号は 11 桁で設定できます。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

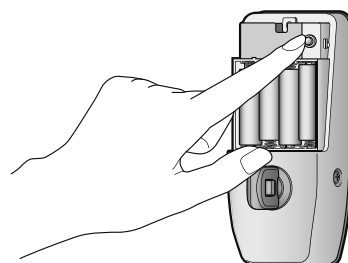
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ)を参照してください。

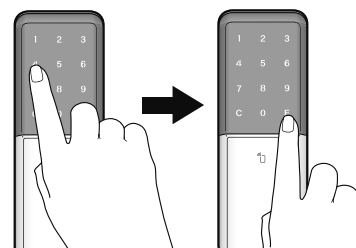
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、マスター用暗証番号を登録／抹消します。


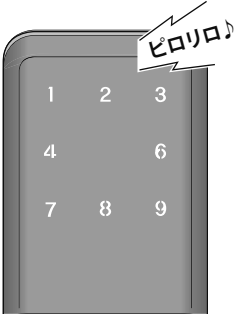
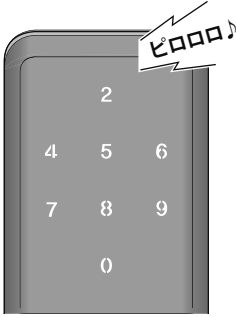
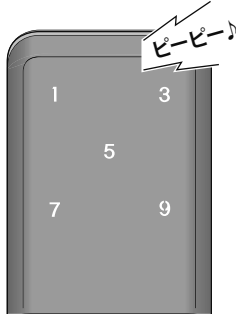
※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



マスター用暗証番号を登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
新規登録	① 「5」 → 「E」 を押す ② マスターカードが登録されている場合はマスターカードをかざす ③ 「1」 → 「E」 を押す ④ 新規登録する 11 桁のマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ⑤ 再度、新規登録する 11 桁のマスター用暗証番号 → 「E」 を押す
変更登録	① 「5」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ④ 登録する 11 桁のマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ⑤ 再度、登録する 11 桁のマスター用暗証番号 → 「E」 を押す
抹消	① 「5」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「0」 → 「E」 を押す ④ 「999」 → 「C」 を押す

● 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	登録完了	抹消完了	設定失敗
			

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（[11 ページ](#)）を参照してください。

空室カードを登録／抹消する

設定条件

- 登録の際は、マスターカード／マスター用暗証番号、登録済みの空室カード／空室用暗証番号のいずれかを準備します。
- ユーザーカードとユーザー用暗証番号の両方を全抹消する。ユーザー設定しているときは、空室カードが登録／抹消できません。
- 解錠状態で空室カードの登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能な空室カードは 20 枚です。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

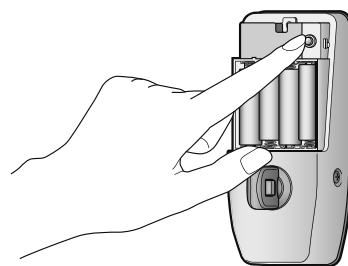
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

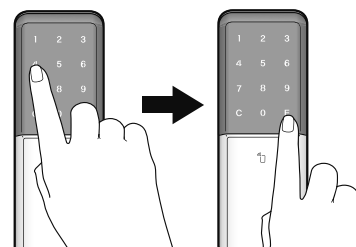
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、空室カードを登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



設定項目	入力方法
新規登録	<ol style="list-style-type: none">① 「4」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「20」を選ぶ → 「E」 を押す④ 登録する空室カードをかざす
追加登録	<ol style="list-style-type: none">① 「4」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「1」 → 「E」 を押す④ 管理番号「1」～「20」 → 「E」 を押す ※ :既に登録されている管理番号は選択できません。⑤ 登録する空室カードをかざす

空室カードを登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
個別抹消	① 「4」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ④ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「20」 → 「E」 を押す ⑤ 「C」 を押す
登録数確認	① 「4」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ④ タッチパネルに登録枚数「01」～「20」が表示される → 「E」 を押す ⑤ 登録済み空室カードをかざす ⑥ 登録済み管理番号「01」～「20」が表示される
空室カードの全抹消	① 「4」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「0」 → 「E」 を押す ④ 「999」 → 「C」 を押す

- ユーザーカード、ユーザー用暗証番号が登録されている場合は、設定ボタンを押したあと、タッチパネルに「4」が表示されません。
- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	カードをかざす	登録完了	抹消完了	設定失敗
	矢印の方向に点滅します。 	ピロロ♪ 	ピロロ♪ 	ビービー♪

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

空室用暗証番号を登録／抹消する

設定条件

- 登録の際は、マスターカード／マスター用暗証番号、登録済みの空室カード／空室用暗証番号のいずれかを準備します。
- ユーザーカードとユーザー用暗証番号の両方を全抹消する。ユーザー設定しているときは、空室用暗証番号が登録／抹消できません。
- 解錠状態で空室用暗証番号の登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能な空室用暗証番号は5種類です。
- 暗証番号は4～10桁で設定できます。
- 設定中に操作を約10秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約1秒間押します。

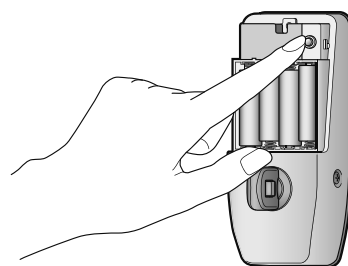
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11ページ)を参照してください。

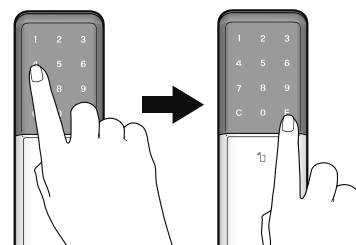
2 解錠状態で設定ボタンを約1秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、空室用暗証番号を登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。


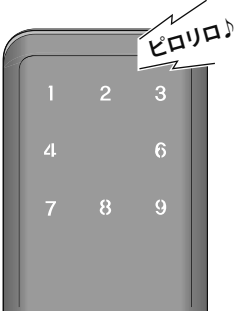
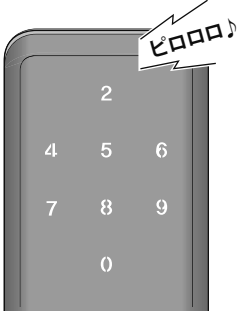
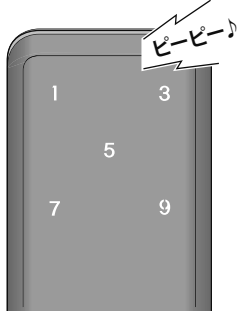


設定項目	入力方法
新規登録	<ol style="list-style-type: none">① 「3」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「5」を選ぶ → 「E」 を押す④ 新規登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す⑤ 再度、新規登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す
追加登録	<ol style="list-style-type: none">① 「3」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「1」 → 「E」 を押す④ 管理番号「1」～「5」 → 「E」 を押す ※ :既に登録されている管理番号は選択できません。⑤ 登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す⑥ 再度、登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す

空室用暗証番号を登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
個別抹消	① 「3」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ④ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「5」 → 「E」 を押す ⑤ 「C」 を押す
登録数確認	① 「3」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ④ タッチパネルに登録数「01」～「05」が表示される → 「E」 を押す ⑤ 登録済みの空室用暗証番号を押す ⑥ 登録済み管理番号「01」～「05」が表示される
空室用暗証番号の全抹消	① 「3」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「0」 → 「E」 を押す ④ 「999」 → 「C」 を押す

- ユーザーカード、ユーザー用暗証番号が登録されている場合は、設定ボタンを押したあと、タッチパネルに「3」が表示されません。
- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	登録完了	抹消完了	設定失敗
			

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

ユーザーカードを登録／抹消する

設定条件

- 解錠状態でユーザーカードの登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能なユーザーカードは 20 枚です。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

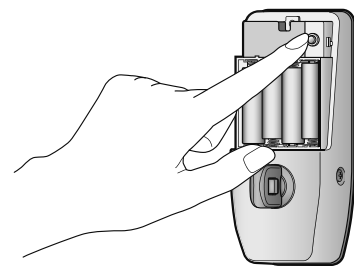
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ)を参照してください。

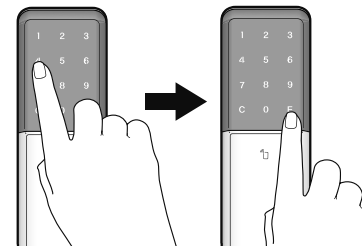
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、ユーザーカードを登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。

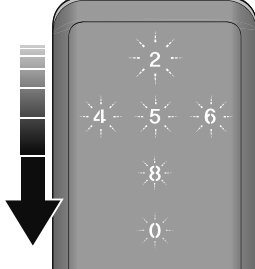
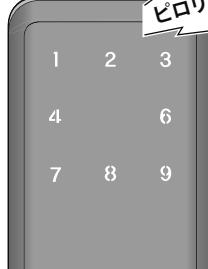

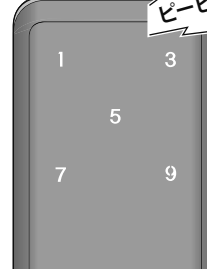


設定項目	入力方法
登録	<ol style="list-style-type: none">① 「2」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「20」を選ぶ → 「E」 を押す④ 登録するユーザーカードをかざす
個別抹消	<ol style="list-style-type: none">① 「2」 → 「E」 を押す② 「2」 → 「E」 を押す③ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「20」 → 「E」 を押す④ 「C」 を押す

ユーザーカードを登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
登録数確認	① 「2」 → 「E」 を押す ② 「3」 → 「E」 を押す ③ タッチパネルに登録枚数「00」～「20」が表示される → 「E」 を押す ④ 登録済みユーザーカードをかざす ⑤ 登録済み管理番号「01」～「20」が表示される ※ユーザー登録数が0のときは表示されません
ユーザーカードの全抹消	① 「2」 → 「E」 を押す ② 「0」 → 「E」 を押す ③ 「999」 → 「C」 を押す

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす	登録完了	抹消完了	設定失敗
矢印の方向に点滅します。 	 ピロロロ♪	 ピロロロ♪	 ピーピー♪

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

ユーザー用暗証番号を登録／抹消する

設定条件

- 解錠状態でユーザー用暗証番号の登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能なユーザー用暗証番号は5種類です。
- 暗証番号は4～10桁で設定できます。
- 設定中に操作を約10秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約1秒間押します。

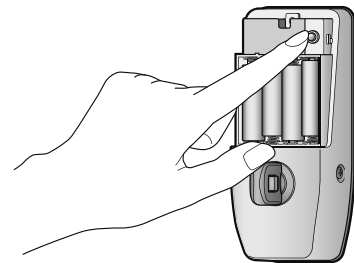
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11ページ)を参照してください。

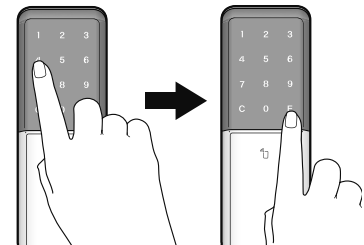
2 解錠状態で設定ボタンを約1秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、ユーザー用暗証番号を登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。

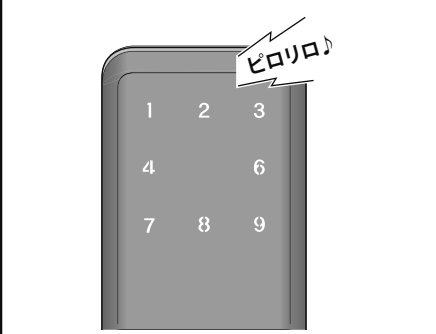
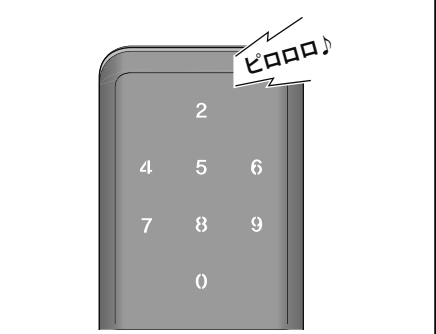
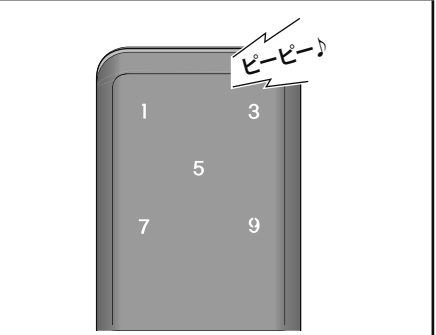


設定項目	入力方法
登録	<ol style="list-style-type: none">① 「1」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「5」を選ぶ → 「E」 を押す④ 登録するユーザー用暗証番号 → 「E」 を押す⑤ 再度、登録するユーザー用暗証番号 → 「E」 を押す
個別抹消	<ol style="list-style-type: none">① 「1」 → 「E」 を押す② 「2」 → 「E」 を押す③ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「5」 → 「E」 を押す④ 「C」 を押す

ユーザー用暗証番号を登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
登録数確認	① 「1」 → 「E」 を押す ② 「3」 → 「E」 を押す ③ タッチパネルに登録数「00」～「05」が表示される → 「E」 を押す ④ 登録済みのユーザー用暗証番号を押す ⑤ 登録済み管理番号「01」～「05」が表示される ※ユーザー登録数が0のときは表示されません
ユーザー用暗証番号全抹消	① 「1」 → 「E」 を押す ② 「0」 → 「E」 を押す ③ 「999」 → 「C」 を押す

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

登録完了	抹消完了	設定失敗
		

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

各暗証番号／カードの登録状況と使用について

ユーザー用暗証番号／ユーザーカードの登録状況により、空室用暗証番号／空室カードが自動的に管理されます。

ユーザー用暗証番号／ ユーザーカードの登録状況	暗証番号／カードが使えるとき		
	所有者 〈マスター用暗証番号／カード〉	管理業者 〈空室用暗証番号／カード〉	入居者 〈ユーザー用暗証番号／カード〉
未登録のとき (登録が0のとき)	○	○	×
登録済みのとき	○	×	○
登録を全抹消したとき (登録が0のとき)	○	○	×

システム設定をする

機能一覧

機能名称	利用者	機能説明	該当 ページ
左右勝手の 切り替え	所有者	● 錠の左勝手、右勝手を切り替える機能です。 ※ 初期設定は「右勝手」です。	12
空室管理 機能	所有者	● ユーザー用暗証番号やユーザーカードが設定されると空室用暗証番号と空室カードが使用できなくなり、ユーザー用暗証番号とユーザーカードをすべて抹消すると空室カードが使用できるようになる機能です。	52
ユーザー 管理	所有者	● ユーザー用暗証番号やユーザーカードの使用に対して有効／無効化の切り替えをする機能です。	34
登録された 暗証番号と カードを 全抹消	所有者	● 下記の登録済みの暗証番号とカードをすべて抹消する機能です。 ・ マスター用暗証番号 ・ マスターカード ・ 空室用暗証番号 ・ 空室カード ・ ユーザー用暗証番号 ・ ユーザーカード	36

システム設定をする（続き）

機能名称	利用者	機能説明	該当ページ
通常認証と簡易認証モードの切り替え	所有者	<p>● 当社が発行した Tebra 認証キーから簡易認証キーに切り替える機能です。</p> <p>※：認証モードを変更するとユーザーカードとユーザー暗証番号の登録がリセットされます。認証モードを元に戻すときは、ユーザーカード／ユーザー用暗証番号を再登録してください。</p> <p>※：初期設定は「通常認証」です。</p>	32
音量の切り替え	所有者 入居者	<p>● 施錠時／解錠時の音量を「無し」「小」「大」に切り替える機能です。</p> <p>※：各システム設定時の音量を「無し」にすることはできません。</p> <p>※：初期設定は「小」です。</p>	38
タッチ施錠	入居者	<p>● タッチパネルに触れて電源を起動させたあと、もう一度触れると施錠する機能です。</p> <p>※：暗証番号が登録されていない場合は、タッチ施錠が機能しません。</p> <p>※：初期設定は「OFF」です。</p>	40
ダブル認証の切り替え	入居者	<p>● ユーザーカードおよびユーザー用暗証番号の両方を使ってドアを解錠する機能です。</p> <p>※：ユーザーカードおよびユーザー用暗証番号の両方が登録されている必要があります。</p> <p>※：施錠する場合は、ユーザーカード／ユーザー用暗証番号のどちらかを操作します。</p> <p>※：初期設定は「OFF」です。</p>	42
フェイク番号機能	入居者	<p>● 解錠用暗証番号を入力前にランダムなフェイク番号を入力することで解錠用暗証番号を特定されにくくする機能です。</p> <p>※：解錠用暗証番号が「1234」の場合、「987654…1234」と入力しても下4桁が正しければ解錠します。</p>	—
いたずらアラーム機能	—	<p>● 解錠するときに5回連続で暗証番号を間違えると次のような警告機能が作動し、いたずらを防止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カード／タッチパネル操作が1分間停止 ・ 警告ブザーが鳴り、タッチパネルが点滅 <p>※：初期設定は「ON」です。</p>	44
自動施錠設定	—	詳細は巻末の連絡先へお問い合わせください。	—

システム設定をする（続き）

通常認証と簡易認証モードを変更する

設定条件

- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態で認証モード設定を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。
- 認証モードを変更した際は、ユーザーカードとユーザー用暗証番号は使用できなくなくなります。

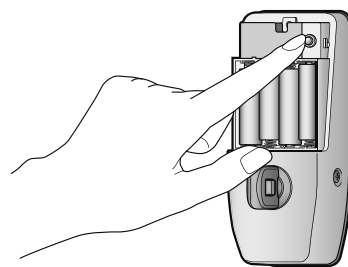
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

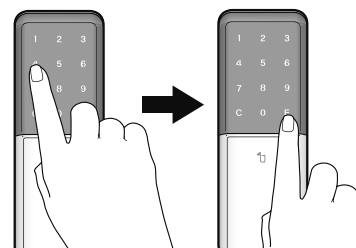
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、認証モードを設定します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



システム設定をする（続き）

設定項目	入力方法	登録中番号表示
通常認証 (初期設定)	① 「0」 → 「E」 を押す ② 「登録済みマスターカードをかざす、 「または登録済みマスター用暗証番号」 → 「E」 を押す ③ 「4」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「1」 → 「E」 を押す	「1」 点滅
簡易認証	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「4」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「2」 → 「E」 を押す	「2」 点滅

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす / 番号入力	登録完了
	

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた / 取り付けかた」
(11 ページ) を参照してください。

システム設定をする（続き）

ユーザー管理設定をする

設定条件

- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態でユーザー管理設定を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

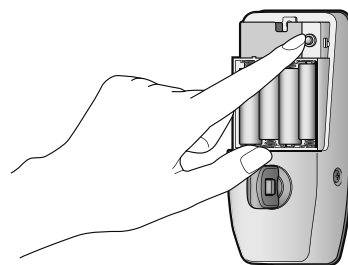
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

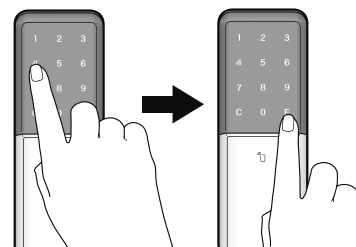
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、ユーザー管理をします。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。


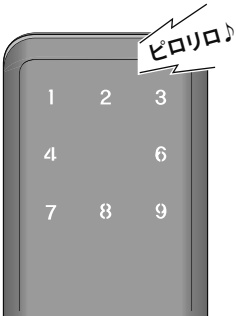
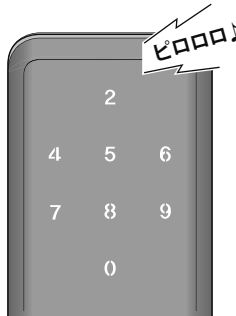


設定項目	入力方法
登録済みのユーザー用暗証番号とユーザーカードの使用を有効化	① 「7」 → 「E」 を押す ② 「1」 → 「E」 を押す ③ 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す
登録済みのユーザー用暗証番号とユーザーカードの使用を無効化	① 「7」 → 「E」 を押す ② 「2」 → 「E」 を押す ③ 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す

システム設定をする（続き）

設定項目	入力方法
ユーザー用暗証番号とユーザーカードを全抹消	① 「7」 → 「E」 を押す ② 「0」 → 「E」 を押す ③ 「999」 → 「C」 を押す

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	登録完了	リセット完了
		

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（[11 ページ](#)）を参照してください。

システム設定をする（続き）

登録された暗証番号とカードを全抹消する

設定条件

- 自動施錠が「ON」の場合は閉め出し防止のため、キーを持って設定を行ってください。
- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態で登録の全抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。
- タッチ施錠が「ON」の場合はリセットできません。

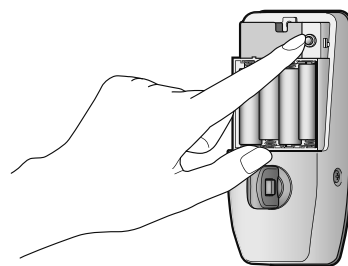
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

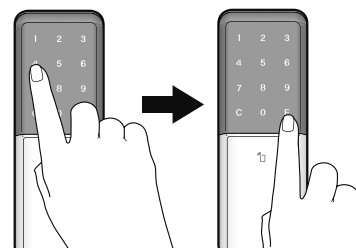
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、登録を全抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



設定項目	入力方法
登録全抹消	<ul style="list-style-type: none">① 「8」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「999」 → 「C」 を押す

システム設定をする（続き）

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。



4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた / 取り付けかた」
(11 ページ) を参照してください。

システム設定をする（続き）

音量を変更する

設定条件

- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態で音量設定を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

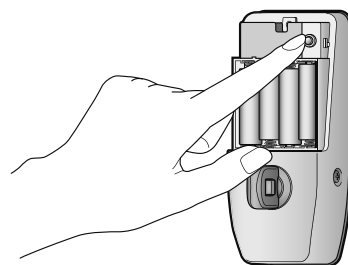
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

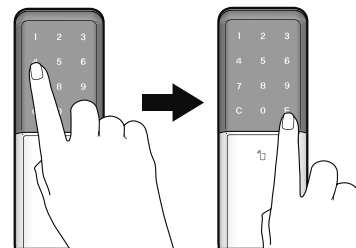
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、音量設定をします。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



設定項目	入力方法	登録中番号表示
無音	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ※：設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「0」 → 「E」 を押す	「1」 点滅
小 (初期設定)	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ※：設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「1」 → 「E」 を押す	「2」 点滅

システム設定をする（続き）

設定項目	入力方法	登録中番号表示
大	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ※：設定項目に連携した登録中の番号が点減します。 ④ 「2」 → 「E」 を押す	「3」 点減

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	設定完了
	

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」
 (11 ページ) を参照してください。

システム設定をする（続き）

タッチ施錠の設定に変更する

設定条件

- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態でタッチ施錠の設定を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

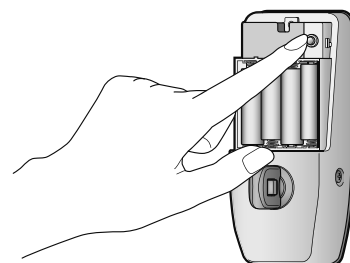
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

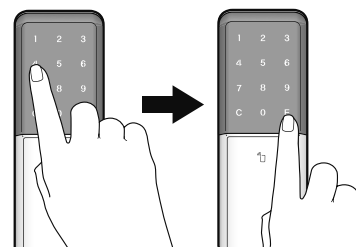
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、タッチ施錠の設定をします。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



設定項目	入力方法	登録中番号表示
OFF (初期設定)	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「1」 → 「E」 を押す	「1」 点滅
ON	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「2」 → 「E」 を押す	「2」 点滅

システム設定をする（続き）

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。



4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた / 取り付けかた」
(11 ページ) を参照してください。

システム設定をする（続き）

ダブル認証の設定に変更する

設定条件

- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態でダブル認証の設定を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録されているすべてのユーザーカードとユーザー用暗証番号が認証できます。
- カードと暗証番号の両方が登録されていなければ、ダブル認証とはならずシングル認証になります。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

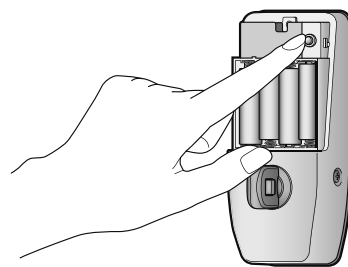
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

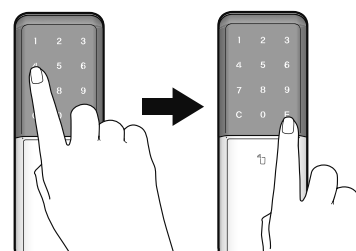
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、ダブル認証の設定をします。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



システム設定をする（続き）

設定項目	入力方法	登録中番号表示
OFF (初期設定)	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「5」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「1」 → 「E」 を押す	「1」 点滅
ON	① 「0」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカードをかざす、 または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「5」 → 「E」 を押す ※ : 設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 ④ 「2」 → 「E」 を押す	「2」 点滅

● 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす / 番号入力	設定完了
	

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた / 取り付けかた」
 (11 ページ) を参照してください。

システム設定をする（続き）

いたずら防止の設定に変更する

設定条件

- マスターカード／マスター用暗証番号を準備します。
- 解錠状態でいたずら防止の設定を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

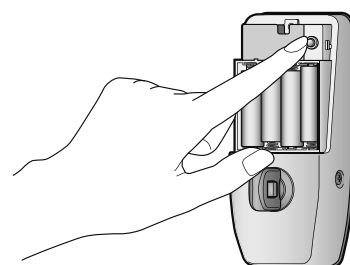
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

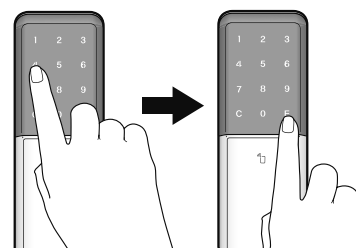
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

タッチパネルに選択できる番号が点灯します。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、いたずら防止の設定をします。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。



設定項目	入力方法	登録中番号表示
OFF	<ol style="list-style-type: none">① 「0」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「6」 → 「E」 を押す ※：設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 <ol style="list-style-type: none">④ 「1」 → 「E」 を押す	「1」 点滅
ON (初期設定)	<ol style="list-style-type: none">① 「0」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「6」 → 「E」 を押す ※：設定項目に連携した登録中の番号が点滅します。 <ol style="list-style-type: none">④ 「2」 → 「E」 を押す	「2」 点滅

システム設定をする（続き）

- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。



4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた / 取り付けかた」（[11 ページ](#)）を参照してください。

自動施錠設定について

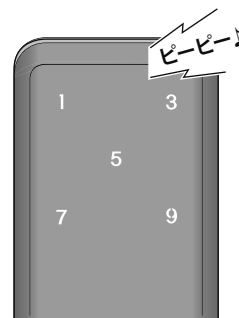
詳細は巻末の連絡先へお問い合わせください。

エラー表示について

登録 / 抹消 / システム設定時に間違えた操作をするとタッチパネルにエラー表示します。

■エラーが表示するとき

- 施錠状態で登録 / 抹消の設定をしたとき
- 登録済みのカードを登録しようとしたとき
- 暗証番号を間違えたとき
- 4 桁未満で暗証番号を登録しようとしたとき



管理業者が使用するカードと暗証番号について

管理業者が TL カードと暗証番号を登録しておくことで、鍵として使用できます。

空室用暗証番号(4~10桁)

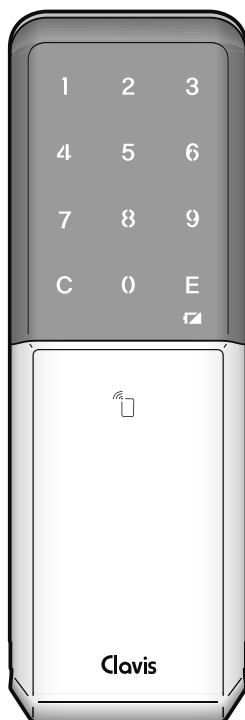
▲▲▲▲▲

- ・5種類の登録ができます。
- ・追加登録には、マスター用暗証番号または、登録済み空室用暗証番号が必要
- ・電話やメールなどで暗証番号を伝えることができ、鍵の受け渡しが不要
- ・工事業者、清掃業者、管理人が施錠／解錠することができ、室内作業を行えます。

ユーザー用暗証番号

★★★★★

- ・ユーザー用暗証番号は、登録がないこと

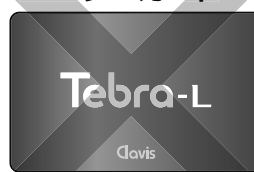


空室カード*



- ・20枚まで登録できます。
- ・追加登録には、マスターカードまたは、登録済み空室カードが必要
- ・工事業者、清掃業者、管理人が施錠／解錠することができ、室内作業を行えます。

ユーザーカード*



- ・ユーザーカードは、登録がないこと

※TL カード以外にも TL キー／ TL タグ／ Tone L タグが Tebra 認証キーとして登録できます。(Tebra 認証キー [2ページ](#))

※Tebra 認証キー (TL キー／ Tone L キー／ TL タグ／ Tone L タグ／ TL カード) は、高度な通信技術で登録されています。

※簡易認証キーについても登録できます。(簡易認証キー [2ページ](#))



注意

- ユーザーカード／ユーザー用暗証番号が登録されているときは、空室カード／空室用暗証番号が登録・使用できません。

認証媒体：登録可能 ID 数	機能	使用者
空室カード：20 枚 空室用暗証番号：5 種類	施錠／解錠および、一部の設定／変更 ・ユーザーカード／暗証番号の登録が 0 の場合のみ使用可能です。 ・ユーザーカード／暗証番号が登録された時点で無効化されます。 ・ユーザー登録情報が削除されると再度空室カード／空室用暗証番号が使用不可能となります。	管理業者

※：TL キー／ Tone キー／ TL タグ／ Tone タグ／ TL カードの合計登録可能 ID 数は空室カードの登録可能 ID 数と同様です。

空室カードを登録／抹消する

設定条件

- 登録の際は、マスターカード／マスター用暗証番号、登録済みの空室カード／空室用暗証番号のいずれかを準備します。
- ユーザーカードとユーザー用暗証番号の両方を全抹消する。ユーザー設定しているときは、空室カードが登録／抹消できません。
- 解錠状態で空室カードの登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能な空室カードは 20 枚です。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

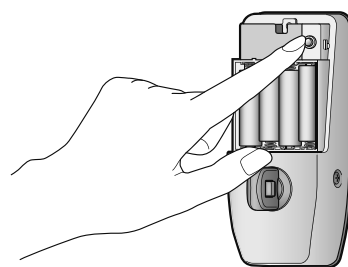
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

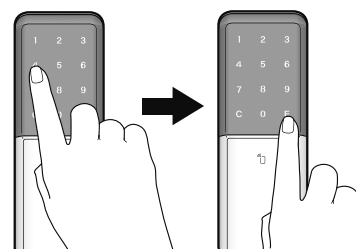
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、空室カードを登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。


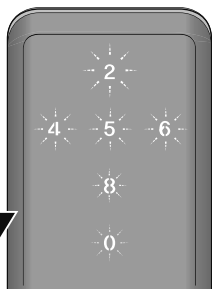
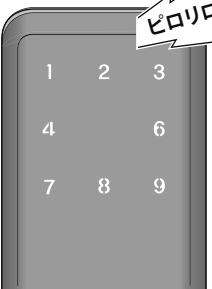

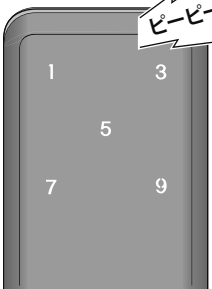


設定項目	入力方法
新規登録	<ol style="list-style-type: none">① 「4」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「20」を選ぶ → 「E」 を押す④ 登録する空室カードをかざす
追加登録	<ol style="list-style-type: none">① 「4」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「1」 → 「E」 を押す④ 管理番号「1」～「20」 → 「E」 を押す ※ :既に登録されている管理番号は選択できません。⑤ 登録する空室カードをかざす

空室カードを登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
個別抹消	① 「4」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ④ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「20」 → 「E」 を押す ⑤ 「C」 を押す
登録数確認	① 「4」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ④ タッチパネルに登録枚数「01」～「20」が表示される → 「E」 を押す ⑤ 登録済み空室カードをかざす ⑥ 登録済み管理番号「01」～「20」が表示される
空室カードの全抹消	① 「4」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「0」 → 「E」 を押す ④ 「999」 → 「C」 を押す

- ユーザーカード、ユーザー用暗証番号が登録されている場合は、設定ボタンを押したあと、タッチパネルに「4」が表示されません。
- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	カードをかざす	登録完了	抹消完了	設定失敗
	矢印の方向に点滅します。 			

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

空室用暗証番号を登録／抹消する

設定条件

- 登録の際は、マスターカード／マスター用暗証番号、登録済みの空室カード／空室用暗証番号のいずれかを準備します。
- ユーザーカードとユーザー用暗証番号の両方を全抹消する。ユーザー設定しているときは、空室用暗証番号が登録／抹消できません。
- 解錠状態で空室用暗証番号の登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能な空室用暗証番号は5種類です。
- 暗証番号は4～10桁で設定できます。
- 設定中に操作を約10秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約1秒間押します。

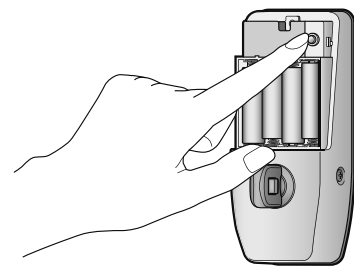
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11ページ)を参照してください。

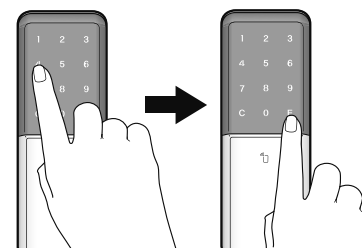
2 解錠状態で設定ボタンを約1秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、空室用暗証番号を登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。


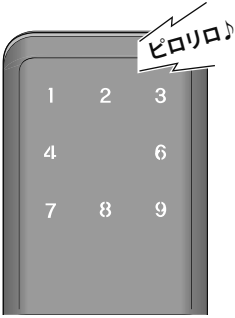
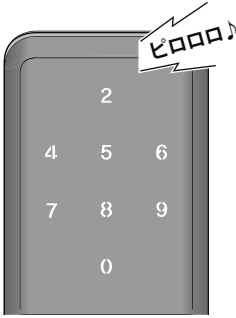
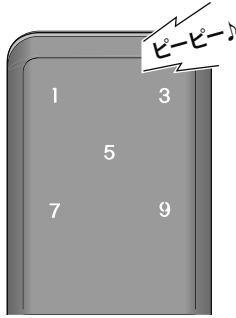


設定項目	入力方法
新規登録	<ol style="list-style-type: none">① 「3」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「5」を選ぶ → 「E」 を押す④ 新規登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す⑤ 再度、新規登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す
追加登録	<ol style="list-style-type: none">① 「3」 → 「E」 を押す② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す③ 「1」 → 「E」 を押す④ 管理番号「1」～「5」 → 「E」 を押す ※ :既に登録されている管理番号は選択できません。⑤ 登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す⑥ 再度、登録する空室用暗証番号 → 「E」 を押す

空室用暗証番号を登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
個別抹消	① 「3」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「2」 → 「E」 を押す ④ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「5」 → 「E」 を押す ⑤ 「C」 を押す
登録数確認	① 「3」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「3」 → 「E」 を押す ④ タッチパネルに登録数「01」～「05」が表示される → 「E」 を押す ⑤ 登録済みの空室用暗証番号を押す ⑥ 登録済み管理番号「01」～「05」が表示される
空室用暗証番号の全抹消	① 「3」 → 「E」 を押す ② 登録済みマスターカード／空室カードをかざす、または登録済みマスター用暗証番号／空室用暗証番号 → 「E」 を押す ③ 「0」 → 「E」 を押す ④ 「999」 → 「C」 を押す

- ユーザーカード、ユーザー用暗証番号が登録されている場合は、設定ボタンを押したあと、タッチパネルに「3」が表示されません。
- 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	登録完了	抹消完了	設定失敗
			

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」（11 ページ）を参照してください。

空室カード／空室用暗証番号の登録状況と使用について

ユーザー用暗証番号／ユーザーカードの登録状況により、空室用暗証番号／空室カードが自動的に管理されます。

ユーザー用暗証番号／ ユーザーカードの登録状況	暗証番号／カードが使えるとき		
	所有者 〈マスター用暗証番号／カード〉	管理業者 〈空室用暗証番号／カード〉	入居者 〈ユーザー用暗証番号／カード〉
未登録のとき (登録が0のとき)	○	○	×
登録済みのとき	○	×	○
登録を全抹消したとき (登録が0のとき)	○	○	×

空室カードを使う

- 所有者や管理業者が設定した空室カードを使用してドアを解錠し作業する。
- 作業後は、空室カードで施錠します。
(非接触キーによる室外側からの施錠／解錠 [62 ページ](#)➡)

空室用暗証番号を使う

- 所有者が設定した空室用暗証番号を管理業者に連絡し、ドアを解錠して作業する。
または、管理業者が設定した空室用暗証番号を使用してドアを解錠し作業する。
- 作業後は、空室用暗証番号を押して施錠します。
(暗証番号による室外側からの施錠／解錠 [63 ページ](#)➡)

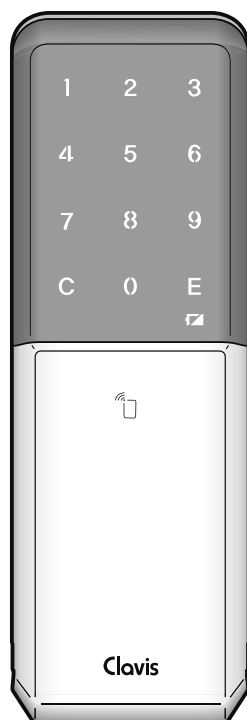
入居者が使用するカードと暗証番号について

TL カードと暗証番号を登録しておくことで、鍵として使用できます。

ユーザー用暗証番号(4~10桁)

★★★★

- ・5種類の登録ができます。
- ・入居者用



ユーザーカード※



- ・20枚まで登録できます。
- ・入居者用

※TL カード以外にも TL キー / TL タグ / Tone L タグが Tebra 認証キーとして登録できます。
(Tebra 認証キー [2 ページ](#))

※Tebra 認証キー (TL キー / Tone L キー / TL タグ / Tone L タグ / TL カード) は、
高度な通信技術で登録されています。

※簡易認証キーについても登録できます。(簡易認証キー [2 ページ](#))

認証媒体：登録可能 ID 数	機能	使用者
ユーザーカード：20 枚 ユーザー用暗証番号：5 種類	施錠 / 解錠および、一部本体の設定 / 変更	入居者

※：TL キー / Tone キー / TL タグ / Tone タグ / TL カードの合計登録可能 ID 数はユーザーカードの登録可能 ID 数と同様です。

ユーザーカードを登録／抹消する

設定条件

- 解錠状態でユーザーカードの登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能なユーザーカードは 20 枚です。
- 設定中に操作を約 10 秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約 1 秒間押します。

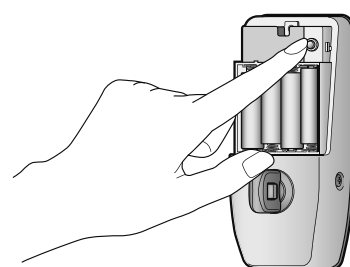
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ)を参照してください。

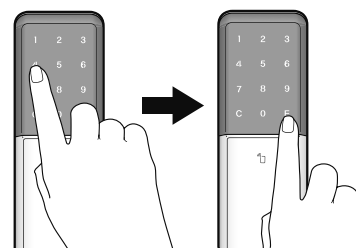
2 解錠状態で設定ボタンを約 1 秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、ユーザーカードを登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。

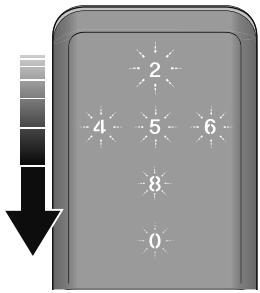
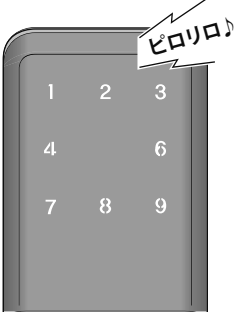

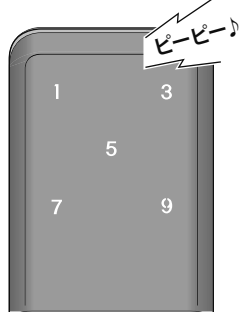


設定項目	入力方法
登録	<ol style="list-style-type: none">① 「2」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「20」を選ぶ → 「E」 を押す④ 登録するユーザーカードをかざす
個別抹消	<ol style="list-style-type: none">① 「2」 → 「E」 を押す② 「2」 → 「E」 を押す③ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「20」 → 「E」 を押す④ 「C」 を押す

ユーザーカードを登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
登録数確認	① 「2」 → 「E」 を押す ② 「3」 → 「E」 を押す ③ タッチパネルに登録枚数「00」～「20」が表示される→「E」を押す ④ 登録済みのユーザーカードをかざす ⑤ 登録済み管理番号「01」～「20」が表示される ※ユーザー登録数が0のときは表示されません
ユーザーカードの全抹消	① 「2」 → 「E」 を押す ② 「0」 → 「E」 を押す ③ 「999」 → 「C」 を押す

● 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす	登録完了	抹消完了	設定失敗
矢印の方向に点滅します。 			

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで10秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11ページ)を参照してください。

ユーザー用暗証番号を登録／抹消する

設定条件

- 解錠状態でユーザー用暗証番号の登録／抹消を行ってください。施錠状態では操作できません。
- 登録可能なユーザー用暗証番号は5種類です。
- 暗証番号は4～10桁で設定できます。
- 設定中に操作を約10秒止めると待機状態になります。再度設定を始めるには設定ボタンを約1秒間押します。

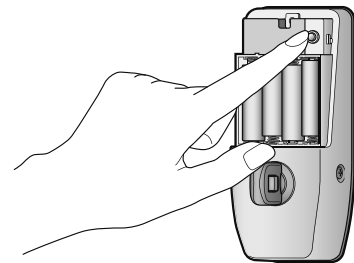
操作方法

1 室内側で電池カバーを取り外しておきます。

電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11ページ)を参照してください。

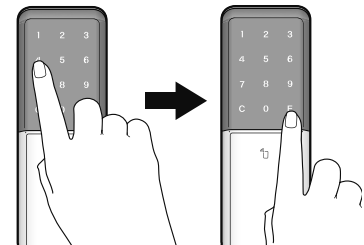
2 解錠状態で設定ボタンを約1秒間押します。

- タッチパネルに選択できる番号が点灯します。
- 入力できる状態になると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



3 次表の設定をタッチパネルに入力して、ユーザー用暗証番号を登録／抹消します。

※手の位置は入力方法のイメージです。入力方法については次表で確認してください。

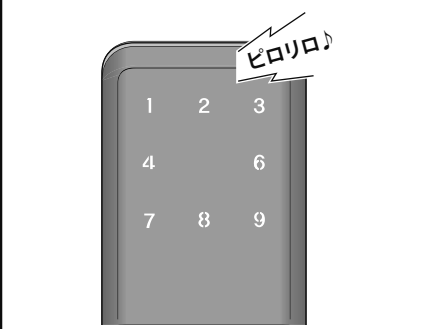
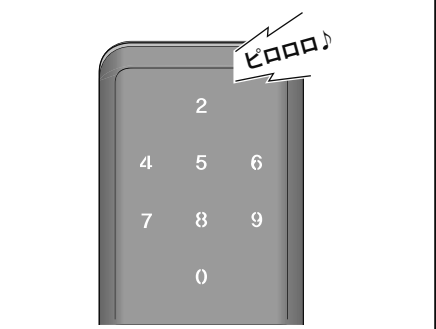
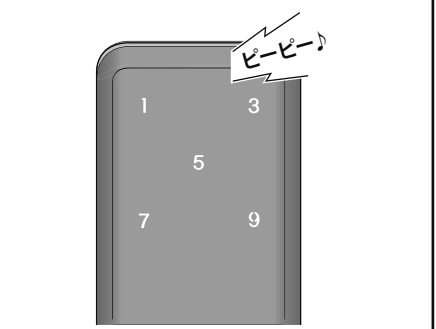


設定項目	入力方法
登録	<ol style="list-style-type: none">① 「1」 → 「E」 を押す② 「1」 → 「E」 を押す③ いずれかの管理番号「1」～「5」を選ぶ → 「E」 を押す④ 登録するユーザー用暗証番号 → 「E」 を押す⑤ 再度、登録するユーザー用暗証番号 → 「E」 を押す
個別抹消	<ol style="list-style-type: none">① 「1」 → 「E」 を押す② 「2」 → 「E」 を押す③ 抹消するいずれかの管理番号「1」～「5」 → 「E」 を押す④ 「C」 を押す

ユーザー用暗証番号を登録／抹消する（続き）

設定項目	入力方法
登録数確認	① 「1」 → 「E」 を押す ② 「3」 → 「E」 を押す ③ タッチパネルに登録数「00」～「05」が表示される → 「E」 を押す ④ 登録済みのユーザー用暗証番号を押す ⑤ 登録済み管理番号「01」～「05」が表示される ※ユーザー登録数が0のときは表示されません
ユーザー用暗証番号の全抹消	① 「1」 → 「E」 を押す ② 「0」 → 「E」 を押す ③ 「999」 → 「C」 を押す

● 設定状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

登録完了	抹消完了	設定失敗
		

4 設定終了

終了する場合は、表示が消えるまで 10 秒間お待ちください。

5 電池カバーを取り付けます。

電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。

ユーザーカードを使う

ユーザーカードを使用して、ドアを施錠／解錠する。
(非接触キーによる室外側からの施錠／解錠 [62 ページ](#))

ユーザー用暗証番号を使う

- ユーザー用暗証番号を使用して、ドアを施錠／解錠する。
(暗証番号による室外側からの施錠／解錠 [63 ページ](#))
- フェイク番号機能を使う
解錠用暗証番号を入力前にランダムなフェイク番号を入力することで、解錠用暗証番号を特定されにくくする機能です。
※：解錠用暗証番号が「1234」の場合、「987654…1234」と入力しても下4桁が正しければ解錠します。

簡易認証キーを使う

所有者が簡易認証モードの設定をすると IC カード (FeliCa / Mifare カード) を使用して、ドアを施錠／解錠ができます。

(非接触キーによる室外側からの施錠／解錠 [62 ページ](#))

※：認証モードを変更するとユーザーカードとユーザー用暗証番号の登録がリセットされます。認証モードを元に戻すときは、ユーザーカード／ユーザー用暗証番号を再登録してください。

(通常認証と簡易認証モードを変更する [32 ページ](#))

引っ越しをするとき

- 所有者にユーザーカードを返却する。
- 所有者がユーザー用暗証番号を抹消する。

所有者が設定を変更すると使える機能

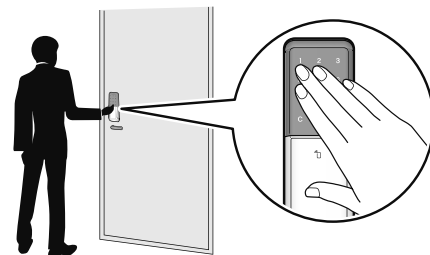
設定することで下記の機能が使用できるように変更できます。

機能名称	利用者	機能説明
音量の切り替え	所有者 入居者	<ul style="list-style-type: none">● 施錠時／解錠時の音量を「無し」「小」「大」に切り替える機能です。※：各システム設定時の音量を「無し」にすることはできません。※：初期設定は「小」です。
タッチ施錠	入居者	<ul style="list-style-type: none">● タッチパネルに触れて電源を起動させたあと、もう一度触れると施錠する機能です。※：暗証番号が登録されていない場合は、タッチ施錠が機能しません。※：初期設定は「OFF」です。
ダブル認証の切り替え	入居者	<ul style="list-style-type: none">● ユーザーカードおよびユーザー用暗証番号の両方を使ってドアを解錠する機能です。※：ユーザーカードおよびユーザー用暗証番号の両方が登録されている必要があります。※：施錠する場合は、ユーザーカード／ユーザー用暗証番号のどちらかを操作します。※：初期設定は「OFF」です。
フェイク番号機能	入居者	<ul style="list-style-type: none">● 解錠用暗証番号入力前にランダムなフェイク番号を入力することで、解錠用暗証番号を特定されにくくする機能です。※：解錠用暗証番号が「1234」の場合、「987654…1234」と入力しても下4桁が正しければ解錠します。
いたずらアラーム機能	—	<ul style="list-style-type: none">● 解錠するときに5回連続で暗証番号を間違えると次のような警告機能が作動し、いたずらを防止します。・ カード／タッチパネル操作が1分間停止・ 警告ブザーが鳴り、タッチパネルが点滅※：初期設定は「ON」です。

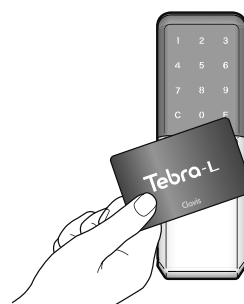
非接触キー（カードなど）による室外側からの施錠／解錠

非接触キー（カードなど）や暗証番号を用いた通常の入退室操作について説明します。施錠／解錠を行うには、非接触キー（カードなど）／暗証番号の登録が完了している必要があります。

- 1** タッチパネルに触れると電源が起動し、文字が点灯します。



- 2** タッチパネルに触れてから 10 秒以内に、非接触キー（カードなど）をリーダ部にかざします。（Tebra 認証キー [2 ページ](#)）



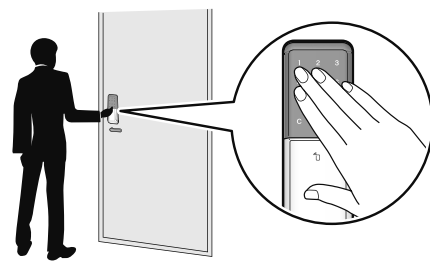
- 3** 動作状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

解錠時	施錠時	認証失敗

- ※ 約 10 秒間操作を行わないと待機状態になります。もう一度最初から操作を行ってください。
- ※ タッチパネルが矢印の方向へ点滅します。

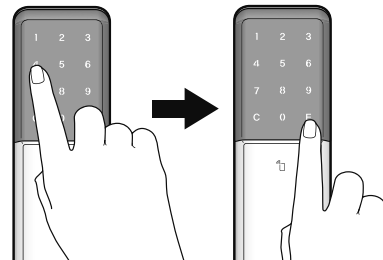
暗証番号による室外側からの施錠／解錠

- 1** タッチパネルに触れると電源が起動し、文字が点灯します。



- 2** タッチパネルに触れてから「ユーザー用暗証番号」→「E」を押します。

※ 手の位置は入力方法のイメージです。



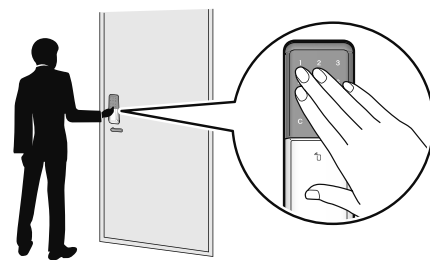
- 3** 動作状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

解錠時	施錠時	認証失敗
A touch panel display with numbers 1-9 and C, 0, E. All numbers are lit up. An upward arrow is on the left, and a beeping sound icon is at the top right.	A touch panel display with numbers 1-9 and C, 0, E. All numbers are dimmed. A downward arrow is on the left, and a beeping sound icon is at the top right.	A touch panel display with numbers 1, 3, 5, 7, 9. These numbers are lit up. A beeping sound icon is at the top right.

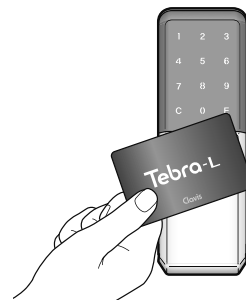
- ※ 約 10 秒間操作を行わないと待機状態になります。もう一度最初から操作を行ってください。
- ※ タッチパネルが矢印の方向へ点滅します。

室外側からの施錠／解錠（ダブル認証モード）

- 1** タッチパネルに触れると電源が起動し、文字が点灯します。

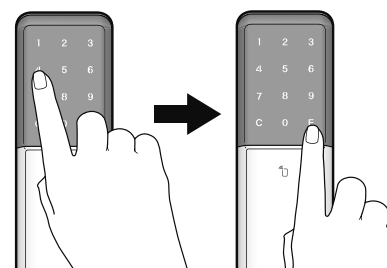


- 2** タッチパネルに触れてから 10 秒以内に、非接触キー（カードなど）をリーダ部にかざします。（Tebra 認証キー [2 ページ](#)）



- 3** タッチパネルに触れてから「ユーザー用暗証番号」→「E」を押します。

※ 手の位置は入力方法のイメージです。



- 4** 動作状況を次のタッチパネル表示およびブザーでお知らせします。

カードをかざす／番号入力	カードをかざす	登録完了	抹消完了	設定失敗
	矢印の方向に点滅します。 			

- ※ 所有者がダブル認証の設定をする必要があります。
- ※ マスターカード／マスター用暗証番号／空室カード／空室用暗証番号ではダブル認証による解錠ができません。
- ※ 施錠する場合は、ユーザーカードとユーザー用暗証番号の両方を認証させると施錠します。
- ※ 手順 **2** **3** は、逆に操作しても施錠／解錠することができます。
- ※ 約 10 秒間操作を行わないと待機状態になります。もう一度最初から操作を行ってください。

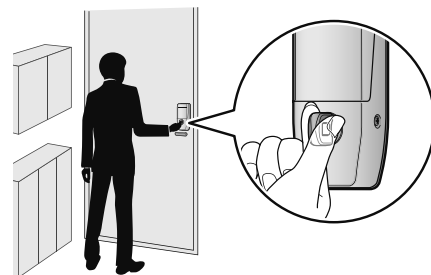
室内側からの施錠／解錠

解錠のしかた

- 1 サムターン押しボタンを指で軽くつまみながら回転させて解錠します。

※ サムターンを回す方向は、左右勝手の設定により異なります。設定方法については、「左右勝手の設定」を参照してください。

- 2 ドアを開けます。



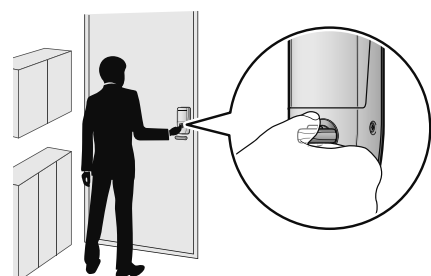
施錠のしかた

- 1 サムターン押しボタンを指で軽くつまみながら回転させて施錠します。

※ 施錠する場合は、押しボタンを押さなくてもサムターンを回転させることができます。

※ サムターンを回す方向は、左右勝手の設定により異なります。設定方法については、「左右勝手の設定」を参照してください。

- 2 ドアが開かないことを確認します。

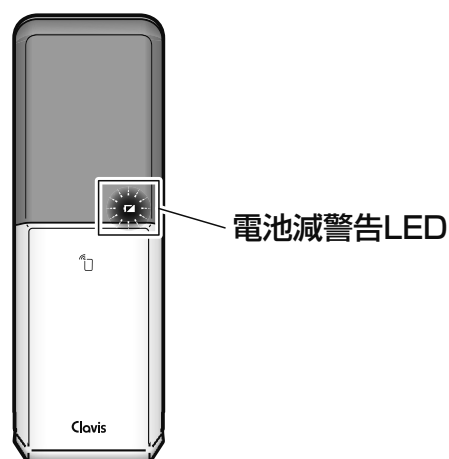


タッチパネルに触れても TebraX が反応しない

万が一、電池切れで解錠できなくなった場合の解錠方法を説明します。

室外側のタッチパネルに触れても動作せず、以下のような場合は、電池切れの可能性がります。

- 施錠／解錠の操作後に電池減警告 LED が点灯し、「ピーッ」と3回鳴る。
- タッチパネルに触れても全く反応しない。
- タッチパネルに触れた後、電池減警告 LED が点灯する。



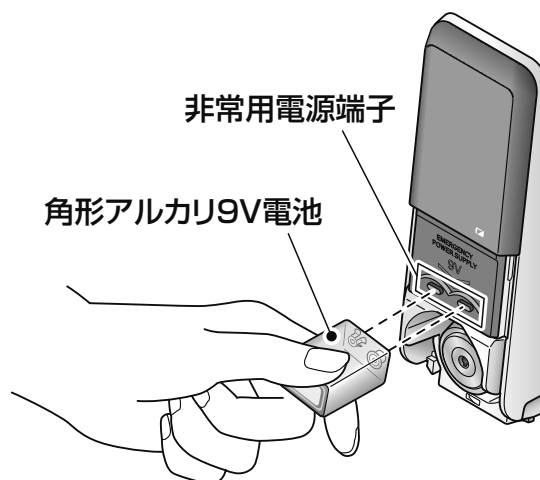
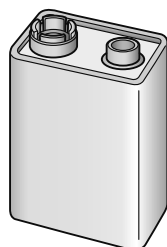
非常用電源供給装置を使用して解錠する

1 室外側からシリンダーカバーを取りはずします。

シリンダーカバーの取り外しについては、「シリンダーカバーの取り外しかた／取り付けかた」(10 ページ) を参照してください。

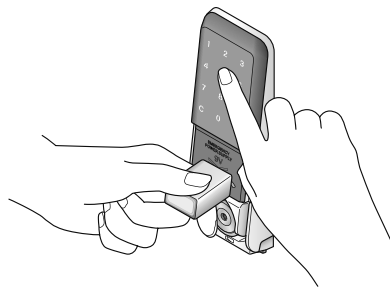
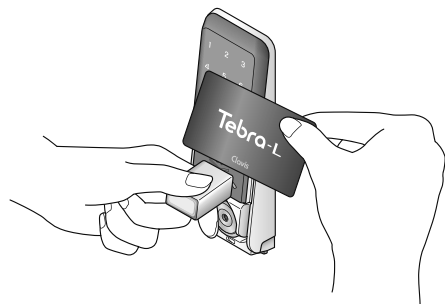
2 シリンダーカバー内の非常用電源端子に、角型アルカリ 9V 電池の端子をしっかりと接触させます。

非常用電源端子に接触させる電池の向き(+)は、どちらでもかまいません。



3 ブザーが鳴り、LED がすべて点灯します。

その後、カード操作またはタッチパネル操作が可能になり、解錠することができます。



4 ドアを開けます。

解錠後は速やかに電池を交換してください。電池の交換については、「本体の電池を交換する」(68 ページ) を参照してください。

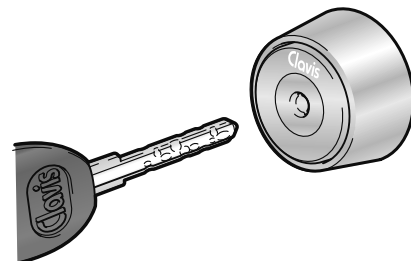
タッチパネルに触れても TebraX が反応しない(続き)

シリンダーで解錠する

1 シリンダーカバーを取り外す。

シリンダーカバーの取り外しについては、「シリンダーカバーの取り外しかた／取り付けかた」(10ページ)を参照してください。

2 既存のキーをシリンダーに挿し込んで解錠します。

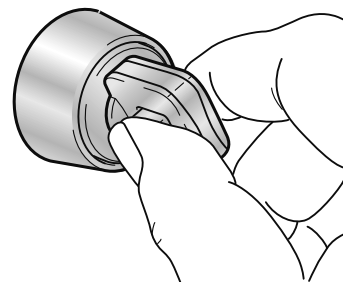


3 ドアを開けます。

解錠後は速やかに電池を交換してください。電池の交換については、「本体の電池を交換する」(68ページ)を参照してください。

サムターンが動かない

解錠時はサムターン押しボタンを押しながらサムターンを回します。

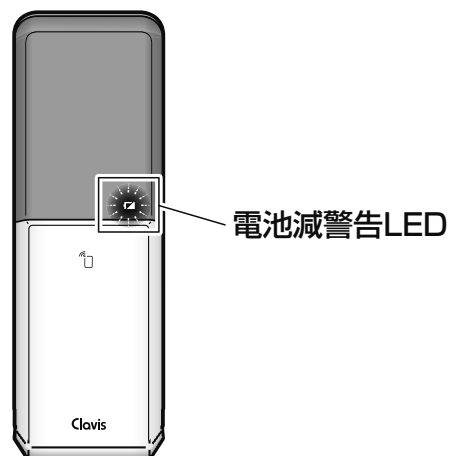


電池減警告 LED が点灯した

電池が消耗してくると、電池減警告 LED が点灯します。その場合は速やかに電池を交換してください。

電池はカメラ店、コンビニエンスストア、家電販売店などでお買い求めになれます。

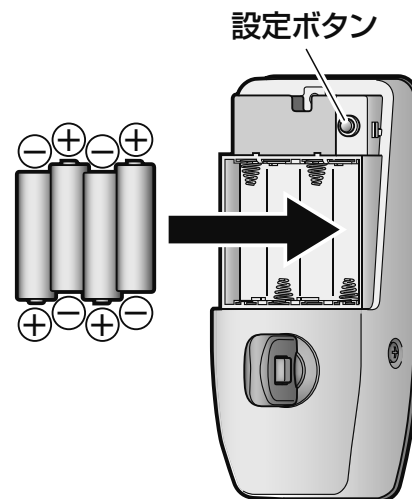
使用電池： 単三アルカリ乾電池、
または単三リチウム電池 4 本



本体の電池を交換する

取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

- 1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。**
- 2 室内側から電池カバーを取りはずします。**
電池カバーの取り外しについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。
- 3 古い電池を取り外します。**
- 4 設定ボタンを一回押し、製品内部に貯まった電気を逃してください。**
- 5 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。**
リチウム電池とアルカリ電池を混ぜて使わないでください。
- 6 電池カバーを元にもどします。**
電池カバーの取り付けについては、「電池カバーの取り外しかた／取り付けかた」(11 ページ) を参照してください。



Tebra 認証キーを紛失した場合

対処のしかた



防犯上、Tebra 認証キーを紛失されたときは、速やかに Tebra 認証キーの再登録（登録全抹消）を行ってください。（[36 ページ](#)▶）
登録情報を抹消することで、紛失した Tebra 認証キーでは入室できなくなります。

キーの追加購入について

本書末尾の保証書に記載しているサービス代行店までお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

故障と判断する前に、まずは次の表に同様の症状がないか確認してください。
それでも正常に作動しない場合は、当社サービス窓口にご連絡ください。

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
設定ボタンを押しても設定モードにならない。	解錠状態になっていない。	サムターンで解錠して設定ボタンを押してください。	65
	左右勝手が正しく設定されていない。	左右勝手を正しく設定してください。	12
マスターカードが新規登録できない。	マスター用暗証番号が登録されている。	マスターカードの新規登録時にマスター用暗証番号が登録されている場合は、マスター用暗証番号の入力が必要です。	18 20
マスターカードが追加登録できない。	登録済みのマスターカードをかざしていない。	登録済みのマスターカードを準備してください。	18 20
	登録済みのマスター用暗証番号を入力していない。	登録済みのマスター用暗証番号を準備してください。	
	すでに登録された管理番号を入力している。	未登録の管理番号を入力してください。	
マスター用暗証番号が新規登録できない。	マスターカードが登録されている。	マスター用暗証番号の新規登録時にマスターカードが登録されている場合は、マスターカードが必要です。	18 20
Tebra 認証キー（カード等）をリーダにかざしても登録できずにエラー表示が出る。	操作方法を間違えている。	取り扱い説明書を見ながら、記載されている順番通りに作業をしてください。	—
	使用できない Tebra 認証キー（カード等）をかざしている。		
	登録済みの Tebra 認証キー（カード等）をかざしている。		
	最大登録枚数に達している。		
ユーザーカード／ユーザー用暗証番号を登録／抹消する時に項目番号が表示されない。	マスターカード／マスター用暗証番号がどちらも登録されていない。	ユーザーカード／ユーザー用暗証番号を登録するためにはマスターカード／マスター用暗証番号どちらかが登録されている必要があります。	18 20
ユーザーカード／ユーザー用暗証番号が登録できずにエラー表示が出る。	登録済みのマスターカードをかざしていない。	登録済みのマスターカードを準備してください。	18 20
	登録済みのマスター用暗証番号を入力していない。	登録済みのマスター用暗証番号を準備してください。	
	すでに登録された管理番号を入力している。	未登録の管理番号を入力してください。	
タッチパネルを触っても LED が点灯しない。	電池が入っていない。	電池を確認してください。	66 68
	電池の向きが間違っている。	電池を交換してください。 施錠している場合は、非常用電源端子から給電して解錠してください。	
	電池が完全に切れている。		
	タッチパネル部を正しく触ることができていない。	タッチパネルは、テンキー表示の数字部分を触ることで起動します。再度テンキー表示の数字部分を触ってください。	3

故障かな？と思ったら（続き）

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
タッチパネルを触ると電池減のLEDが点灯し、すぐLEDが消灯してしまう。	本体の電池切れです。	新しい電池に交換してください。施錠している場合は、非常用電源端子から給電して解錠してください。	66 68
タッチパネルのすべての数字が点滅している。	いたずら防止状態です。 (施錠時に5回連続で暗証番号を間違える、または間違ったカードをかざした)	いたずら防止機能が復旧するまで操作しない。 (約1分)	31 44
動作は開始するが、施錠／解錠ができない。	ドアが完全に閉まり切っていない。	ドアを閉めてください。	—
	室内換気を行っている。	室内の圧力差による現象です。(故障ではありません)	—
	ドアの施錠／解錠の異常です。	ドアがしっかり閉まっていることを確認し、再度Tebra認証キーか暗証番号を使用して施錠／解錠をしてください。(サムターンを使用しても施錠／解錠できない場合は、ドア全体の調整が必要となりますので、速やかに建築物の管理責任者・管理会社・施工業者・建具メーカーに連絡してください。)	—
Tebra認証キーで操作ができない。	Tebra認証キーが登録されていない。	Tebra認証キーを登録してください。	2 17 47 55
	リーダ部に正しくかざしていない。	リーダ部のマークを目安にTebra認証キーの認証センサー範囲と合わせてかざしてください。	1 2
	カードを重ねてかざしている。	カードを1枚でかざしてください。	
	Tebra認証キーに金属物(キーホルダや硬貨等)が重なっている。	金属物を取り除いてください。	
	Tebra認証キーに金属を含むシールが貼ってある。	シールをはがしてください。	2
	Tebra認証キーが破損している。	別のカードをリーダにかざして問題ないようでしたらTebra認証キーに何らかの問題があります。当社サービス代行店にご連絡ください。	
	使用できない非接触ICカードをかざしている。	正しいカードをかざしてください。	
暗証番号で施錠／解錠ができない。	暗証番号が登録されていない。	暗証番号を登録してください。	20 24 28
	テンキー部を正しく押せていない。	タッチパネルのテンキー表示の数字部分をゆっくり押してください。	3
カードを紛失した。		紛失したカードを抹消して新しいカードを登録してください。紛失したカードの管理番号がわかる場合は個別抹消、わからない場合は全抹消をしてください。	18 22 26 69

故障かな？と思ったら（続き）

状態	考えられる原因	処置	参照ページ
マスター用暗証番号が第三者に漏洩したもしくは忘れた。		暗証番号を変更登録するか抹消してください。この場合、登録されたマスターカード／マスター用暗証番号が必要になります	20
ユーザー用暗証番号が第三者に漏洩したもしくは忘れた。		暗証番号を抹消して新しい暗証番号を登録するかユーザーカード／ユーザー用暗証番号を無効にしてください。管理番号がわかる場合は個別抹消、管理番号がわからない場合は全抹消をしてください。この場合、登録されたマスターカード／マスター用暗証番号が必要になります。	28 34



注意

紛失したマスターカード以外に施錠／解錠操作できるカードが一枚もなく、マスター用暗証番号も登録していない（忘れた）場合は、キー以外で解錠することはできません。また、カードおよび暗証番号の抹消もできないため、本体から電池を抜いて、当社サービス窓口にご連絡ください。

製品名	Tebra X	
型式	TCXMCD-22N	
自動施錠	あり／なしの選択可 ※出荷後は不可	
閉扉センサ	自動施錠ありの場合、別途手配要	
左右勝手	あり	
適応シリンダー	RT、T20、F22	
適応錠ケース	LC、LCS、CD、CDS	
扉厚適用範囲	32mm 以上～ 44mm 以下	
バックセット	64、51 ※BS51 は枠に干渉しないかどうか必ずご確認ください。	
寸法	室外ユニット	212mm (H) × 71mm (W) × 40mm (D)
	室内ユニット	165mm (H) × 71mm (W) × 43mm (D) (サムターン部 69mm)
材質	室外・室内ユニット	タッチパネル：PC 樹脂／その他：ABS 樹脂等
仕上げ	シルバー塗装 (SL)	
認証媒体 ^{*1}	マスター・空室カード	TL カード、TL キー、TL タグ、ToneL キー、ToneL タグ
	ユーザーカード	通常認証：TL カード、TL キー、TL タグ、ToneL キー、ToneL タグ 簡易認証：FeliCa ^{*2} 、Mifare ^{*3} 、tag-it、i-code
送信周波数	13.56MHz	
登録可能 ID 数	カード	マスター：10 枚／空室：20 枚／ユーザー：20 枚
	暗証番号	マスター：1 種 (11 桁) ／空室：5 種 (4～10 桁) ／ユーザー：5 種 (4～10 桁)
耐久性	施解錠 10 万回	
電池	単三リチウム乾電池 (FR6) × 4 本	
非常用電源	アルカリ 9 V 角形電池 × 1 本	
電池寿命	約 1 年 (1 日 10 回操作を想定)	
検知距離 ^{*4}	約 1 cm ※簡易認証の場合、検知距離が取れない場合もあります	
使用温湿度範囲	- 10℃～ 50℃ / 30～90%RH ※氷結 / 結露なきこと	
防水性能	室外側：IPX4 ^{*5} 、室内側：なし	

※¹ 本製品は総務省の型式指定を取得した高周波利用設備を内蔵しています。

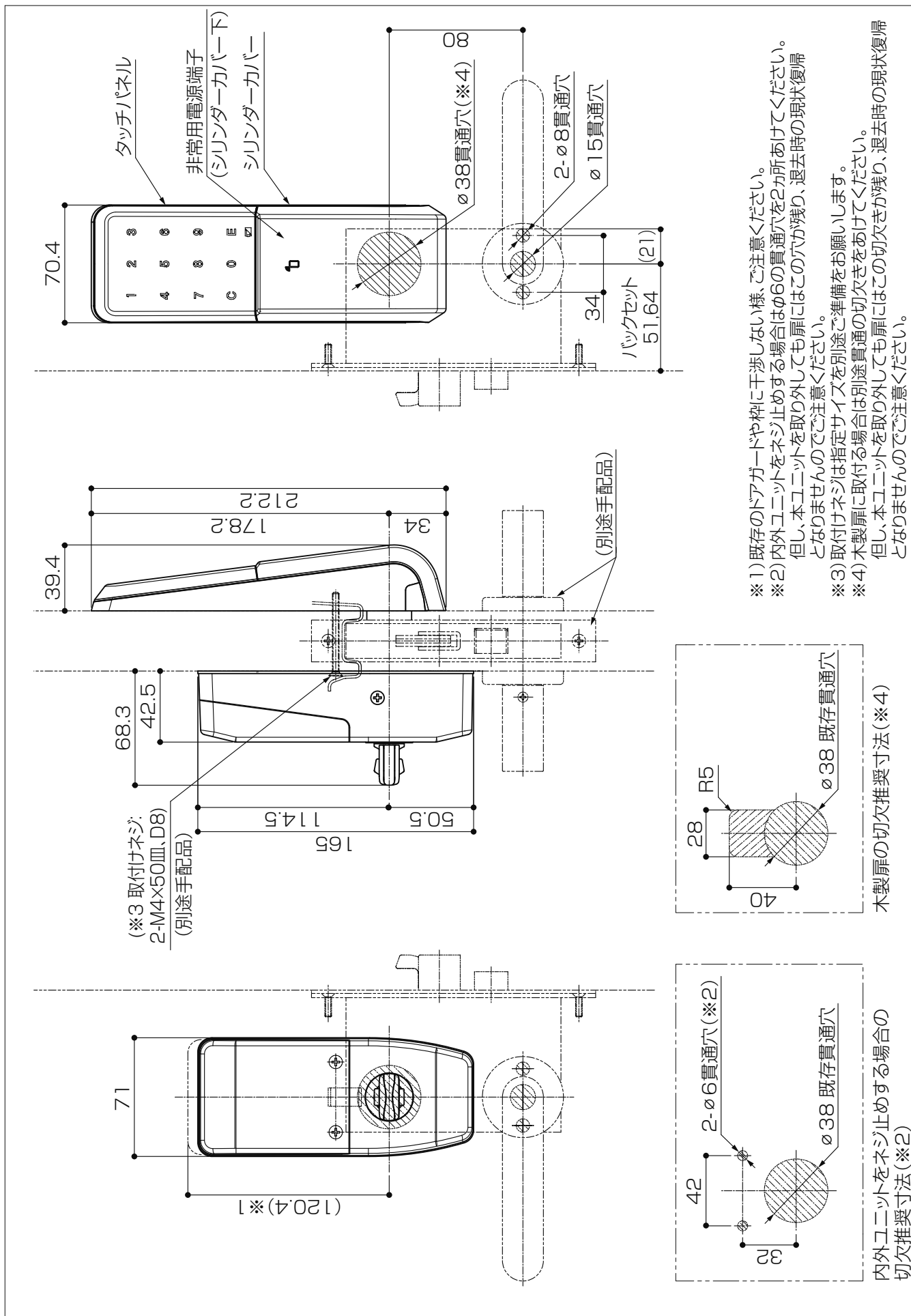
※² 「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

※³ 「Mifare[®]」は NXP セミコンダクターズの登録商標です。

※⁴ 通信距離の仕様は、弊社発行のオリジナルカードでしか保証されません。カードの種類によっては仕様の通信虚距離を確保できない恐れがあります。

※⁵ JIS C0929 (IEC 60529) 『電気機械器具の外郭による保証等級 (IP コード)』における保護等級を示します。IPX4 とは防まつ形を意味します。



保証書

この度は当社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。本保証書は、品質保証事項に記載の規定によります。保証期間内に故障した場合は下記取扱店に修理をご依頼下さい。尚、修理の際には本書をご提示下さい。

品質保証事項

1. 保証内容：通常の取り扱いによって生じる品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの
2. 保証期間：製品のお買い上げ日より2年間
 - ・ お買い上げ日を本書にご記入ください。
 - ・ サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類などを大切に保管してください。サービス代行店からのお買い上げ日が特定できる書類が無い場合は、勝手ではありますが、当社商品に記載している年月を保証開始時期の目安とさせていただきます。
3. 保証適用地域：保証運用範囲地域の限界は、下記サービス代行店の行動範囲内(100km以内)とします。

この範囲を超える遠隔地及び離島・山頂等の地域への出張により修理・交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
4. 免責事項：原因が次の様な場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - ・ 本書の提示がない場合
 - ・ ご使用開始以前の保管・輸送・設置配線工事に起因する故障、および損傷
 - ・ 他の機器からの異常電圧・電流を受けたことによる故障、および損傷
 - ・ 電池の入れ間違い等ご使用上の間違いや破損
 - ・ 電池の交換
 - ・ コピーしたキーに起因する不具合
 - ・ 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの
 - ・ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法をされた場合の不具合
 - ・ 錠以外の商品または部品(扉、丁番、ドアクローザなど)に起因する錠の不具合
 - ・ 商品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)またはこれらに伴うさび、その他の不具合
 - ・ 鍵穴への異物(例えば、針金、マッチ棒など)挿入、注油、昆虫の侵入、ほこりによる不具合
 - ・ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合(例えば塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ・ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - ・ 犯罪などの不法な行為(ピッキング、バールなどの道具によるこじ開けなど)に起因する破損や不具合

上記品質保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

消耗品(電池等)は保証対象外となります。

- ※ 本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、取扱店へお問合せ下さい。
- ※ 本書は再発行致しませんので、全てご記入のうえ大切に保管して下さい。

サービス代行店名・住所・電話番号	お買い上げ日
	年 月 日
	保証期間
	お買い上げ日より2年間

株式会社シブタニ クラビス事業部

〈西日本グループ〉 ☎ 541-0048
大阪府大阪府中央区瓦町 1-2-13

〈東日本グループ〉 ☎ 113-0033
東京都文京区本郷 1-24-1

Clavis URL: <https://www.clavis.jp> **株式会社ラブリタニ**

〈西日本グループ〉

〒 541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町 1-2-13

TEL : 06-6222-8178

FAX : 06-6222-8179

〈東日本グループ〉

〒 113-0033 東京都文京区本郷 1-24-1

TEL : 03-5802-6887

FAX : 03-5802-8070